



IEEE 1394/Ultra Wide SCSI PCI Board

REX-PCIFS3

ユーザーズマニュアル

1999年10月

第1.0版

ラトックシステム株式会社

< REX-PCIFS3 マニュアル 目次 >

1.	はじめに	1
1-1.	ご注意	1
1-2.	本製品を安全にお使いいただくために	2
1-3.	本製品に関するお問い合わせ	3
2.	REX-PCIFS3 について	4
2-1	製品特徴	4
	SCSI に関して	4
	IEEE 1394 に関して	4
2-2.	対応 OS	5
2-3.	対応機種	5
2-4.	パッケージ内容の確認	5
2-5.	動作環境 (推奨)	6
3.	セットアップ	7
3-1.	セットアップの概要	7
3-2.	REX-PCIFW1 (PCI ボード) の取り付け	8
3-3.	SCSI および IEEE1394 ドライバのインストール	9
	 IEEE 1394 編マニュアル	 14
	 SCSI 編マニュアル	 24

1. はじめに

この度は REX-PCIFS3 IEEE 1394 / Ultra SCSI PCI Board をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。本書は REX-PCIFS3 の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書をお読みください。また、添付の CD-ROM (RATOC IEEE 1394/FireWire Series) に入っている README ファイルには本書に記載できなかった最新情報がありますので、あわせてご覧ください。

1-1. ご注意

本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しましては、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。

運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承願います。

本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に記載しております。必ず内容をご確認のうえ、大切に保管ください。

Windows は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

FireWire および FireWire ロゴマークは、アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標です。

Sony DVCAM 用デバイスドライバ (sonydvcr.sys) は、ソニー株式会社が著作権を所有しています。

本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には® および™ マークは明記しておりません。

製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。

“REX” は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。

1-2. 本製品を安全にお使いいただくために (必ずお読みください)

記号説明



この表示を無視して誤った取り扱いをおこなうと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをおこなうと、人が負傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。



製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。また、無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることは行わないでください。

製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため使用しないでください。



本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。

高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びたものの近くでの保管は避けてください。

本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

1-3. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記 FAX 番号までお送りください。折り返し、弊社より電話または FAX、電子メールにて回答いたします。

ご質問に対する回答は、下記営業時間内となりますのでご了承ください。
また、ご質問の内容によりましてテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばル
(TEL) 06-6633-6766 (FAX) 06-6633-3553
月～金 10:00～17:00 土曜・日曜および祝日を除く
FAX での受付は 24 時間おこなっております。

NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。
PC Vendor Station E
(SPCVE)
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

ホームページで最新の情報をお届けしております。
<http://www.rexpccard.co.jp>

2. REX-PCIFS3 について

2-1 製品特徴

SCSI に関して

PCI ローカルバスインターフェース上で動作する Ultra Wide SCSI ボードです。パソコンとの転送は 32bit データバス、33MHz バスクロック、バスマスタ転送方式により最高 132MB/sec の転送を行います。

Ultra Wide SCSI 機器との転送は同期転送で最高 40MB/sec (理論値) の転送を行います。

将来の BIOS アップグレードに備え、書き換え可能な Flash メモリを採用しています。

SCSI 機器接続状態を自動検出、ターミネーション自動設定回路を採用しています。

高速化の技術でマルチタスク、タグキュー、マルチスレッド、スキップギャザー、ディスク接続/リコネクトをサポートしています。

SCSI-BIOS メニューより、ハードディスク、MO の物理フォーマットをサポートしています。

Narrow (50 ピンコネクタ) の外付け機器接続用の SCSI ケーブルを標準で添付しています。

IEEE 1394 に関して

Windows98 で標準サポートされている OHCI を採用。

400Mbps の高速 PHY を実装。

32 ビット PCI バスマスタ転送方式を採用。

400Mbps 対応 IEEE 1394 端子を 3 ポート実装。

(6 ピン × 1 ポート、4 ピン DV × 2 ポート)

ケーブル給電が必要な機器用に内部電源コネクタを装備。

DV 動画のプレビュー、キャプチャ、静止画キャプチャなどが簡単にできるオリジナルソフトウェアを添付。

便利な動画編集ソフト Video Studio DV (Ulead 社) を添付。

2-2. 対応 OS

本製品は、以下の OS (オペレーティングシステム) に対応しています。

Windows98、Windows98 Second Edition、Windows 2000(ベータ版にて動作検証済)

IEEE 1394 に DV カメラ以外の機器 (HDD、MO 等) は Windows98 Second Edition、Windows2000 でのみ対応しております。

2-3. 対応機種

本製品は、PCI スロットを装備した以下のパソコンに対応しています。

PC/AT 互換機 (DOS/V)

NEC PC98-NX シリーズ

2-4. パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには、次のものが同梱されております。

REX-PCIFS3 PCI ボード

外付け用ハーフピッチ 50pin SCSI ケーブル(約 70cm)

SCSI Setup FDD 2 枚

RATOC IEEE 1394 /FireWire 用 CD-ROM

Ulead 社 VideoStudio DV(CD-ROM)

ユーザズマニュアル(本書)

保証書

不足の場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

2-5. 動作環境 (推奨)

IEEE1394の機能を使ってDVカメラから動画の取り込みを行う際に、製品の性能を十分に引き出すには、Pentium 300MHz以上、メモリ128MB以上のパソコンを推奨します。高速HDD、高速グラフィックボード (AGP 推奨)、高速サウンドボードを搭載するとパフォーマンスが向上します。

それ以下の環境では、動画のコマ落ちや、データ欠けによる画像の乱れ、音声のとぎれ等が発生する場合があります。

【アプリケーションを快適に動作させるためのパソコンの推奨性能】

機能	CPU	HDD	メモリ	グラフィック
静止画取り込み	MMX Pentium 266MHz 以上		64MB 以上	高速 AGP
動画表示	MMX Pentium 266MHz 以上		64MB 以上	高速 AGP
音声なし動画取り込み (DV HDD)	MMX Pentium 266MHz 以上	高速 大容量 ¹	64MB 以上	高速 AGP
音声付き動画取り込み (DV HDD)	Pentium 300MHz 以上	高速 大容量 ¹	128MB 以上	高速 AGP
書き戻し (HDD DV)	Pentium 300MHz 以上	高速 大容量 ¹	128MB 以上	高速 AGP

1 「1秒」の動画で「約4MB」必要です。

3. セットアップ

3-1. セットアップの概要

本製品をご使用いただくには、ハードウェアの接続およびドライバソフトウェアのインストールが必要です。

REX-PCIFS3(PCI ボード)の取り付け

SCSI, OHCI ドライバソフトウェアのインストール
Windows98 の CD-ROM が必要な場合があります。

ユーティリティソフトウェアのインストール

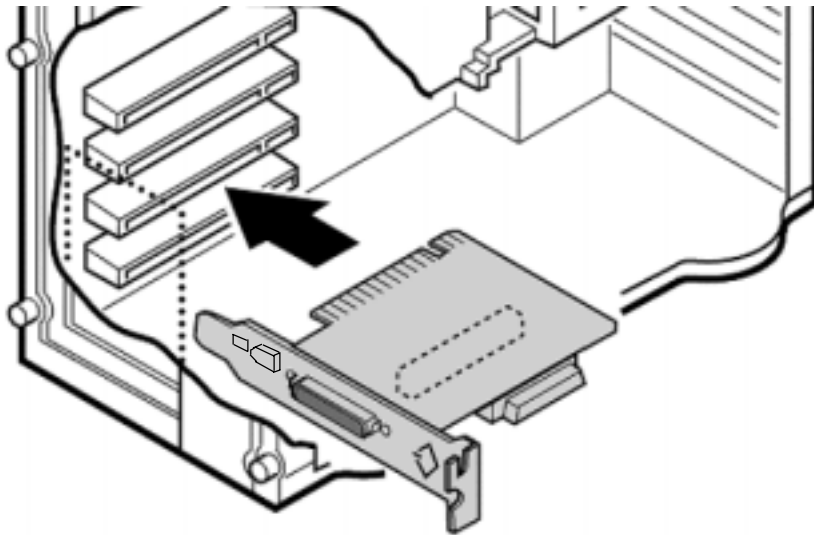
IEEE 1394 機器の接続
DV カメラの接続
CCD カメラの接続

IEEE 1394 機器ドライバソフトウェアのインストール
DV カメラ用ドライバのインストール
CCD カメラ用ドライバのインストール

IEEE 1394 に関しては、本体用ドライバをインストール後、DV, CCD カメラ用ドライバのインストールも必要になります。
詳細に関しては IEEE 1394 の章を参照してください。

3-2. REX-PCIFW1 (PCI ボード) の取り付け

外部コネクタがシステムユニットの背面に面するように設置し、PCI Bus スロットに合うように挿入してください。



金色の接触部が白いソケットに完全に入り見えなくなるまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。

挿入されたら取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。

* ネジは不要な場合があります。

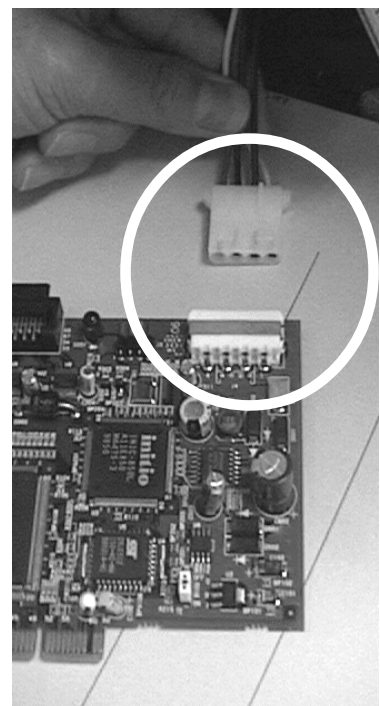
接続方向には十分に注意して装着してください。無理に装着した場合、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。

PCI スロットの位置や装着方法については、パソコンの説明書をご覧ください。

* IEEE 1394 接続で CCD カメラ、ハードディスク、MO、CD-ROM ドライブ等を使用する際の注意

ケーブル給電が必要な機器 (CCD カメラなど) を使用する場合は、PC 本体の内部電源を接続する必要があります。(右図参照)

電源を直接取得できる機器 (DV カメラなど) のみを使用する場合、内部電源を接続する必要はありません。



3-3. SCSI および IEEE1394 ドライバのインストール

1. 本製品をはじめてパソコンに挿入した時、以下の画面が表示されます。
[次へ>]をクリックしてください。



2. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、[次へ>]をクリックしてください。



3. 添付の SCSI Setup Disk をフロッピードライブに入れ、[フロッピーディスクドライブ]を選んで[次へ>]をクリックしてください。



REXPICFS3 のセットアップ

4. 下記のドライバ名が表示されます。確認後[次へ]を押してください。



5. [次へ]を押してください。ファイルのコピーが始まります。



6. SCSI ドライバの組み込みが完了します。
続いて、IEEE1394 ドライバの組み込みが始まります。



7. 下図のように IEEE1394 コントローラが検出されます。[次へ]をクリックしてください。



8. [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選んで[次へ]をクリックしてください。



9. ドライバはシステム標準のものを使用しますので、特定の場所を検索する必要はありません。チェックボックスを全て空白にして[次へ]をクリックしてください。



REXPCIFS3 のセットアップ

10. 「更新されたドライバ (推奨) (I) NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」を選択し、[次へ>]をクリックしてください。



11. [次へ>]をクリックしてください。



12. **[ディスクの挿入]** 画面が表示される場合は、

Windows98 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入し、[OK]をクリックします。



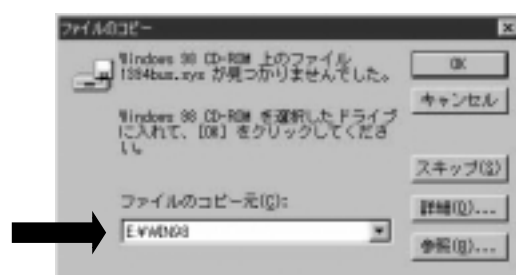
「Windows 98 CD-ROM 上のファイル xxxxx.xxx が見つかりませんでした。」と表示される場合は、

[ファイルのコピー元(C):] 欄に

E:¥WIN98

(CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)

と入力し、[OK]をクリックします。



13. [完了]をクリックしてください。



以上で SCSI および IEEE 1394 用ドライバソフトウェアのインストールは完了です。

次の方法で、OHCI ドライバソフトウェアが正常にインストールされたことを確認できます。

1. [マイコンピュータ]から[コントロールパネル]をダブルクリックして開き、次に[システム]をダブルクリックします。



2. [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[1394 バスコントローラ]をダブルクリックします。

「NEC Firewarden OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」と「RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller」が追加されていることをご確認ください。



PCI-FS3

IEEE 1394 編

ここでは実際に DV カメラなどのハードウェアを接続する際の注意点を記します。

DV カメラから動画、静止画を取り込む添付のソフトウェア RsDvCap に関しては別冊のマニュアルを参照してください。

< REX-PCIFS3IEEE 1394 編 目次 >

1. IEEE 1394 機器の接続	15
1-1. DV カメラの接続	15
2-2. DV カメラ用ドライバのインストール	16
1-3. CCD カメラの接続	19
1-4. CCD カメラ用ドライバのインストール	20
1-5. HDD や MO の接続	21
動作確認済み IEEE 1394 機器	22
対応アプリケーションソフトウェア	23
制限	23

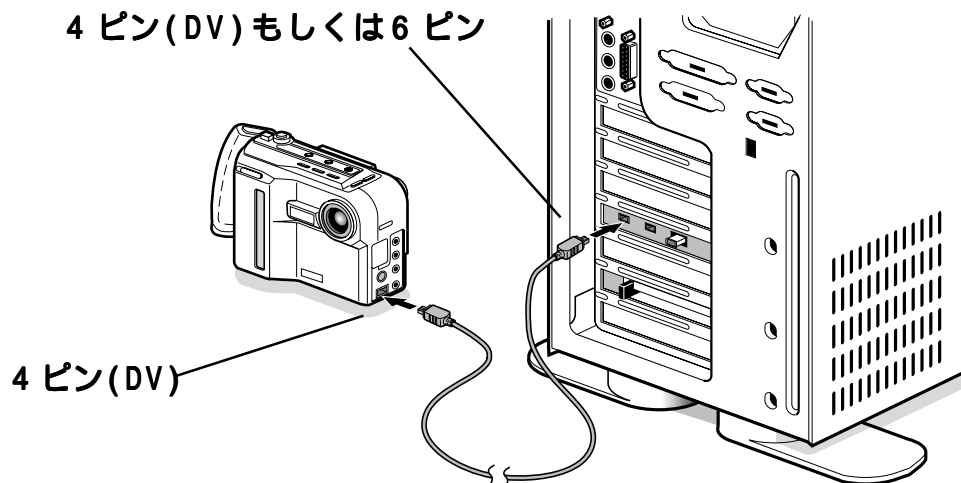
1. IEEE 1394 機器の接続

1-1. DV カメラの接続

1. 下図を参考にし、IEEE 1394 ケーブル (DV ケーブル) で DV カメラを接続します。

IEEE 1394 ケーブル (DV ケーブル) は、パソコンやカメラの電源を切らずに、抜き差しすることができます。

DV カメラの DV 端子の位置につきましては、ご使用の DV カメラの説明書をご覧ください。



IEEE 1394 ケーブル (DV ケーブル) は、4 ピン - 4 ピン、もしくは4 ピン - 6 ピンのものをご使用ください。

IEEE 1394 ケーブル (DV ケーブル) は、添付していません。ご使用の機器の端子形状をご確認の上、接続ケーブルをご購入ください。

はじめて DV カメラを接続した場合は、「新しいハードウェア」の検出画面が表示されます。次に DV カメラ用ドライバのインストール方法を示しますので、手順に従ってインストールを行ってください。

2-2. DV カメラ用ドライバのインストール

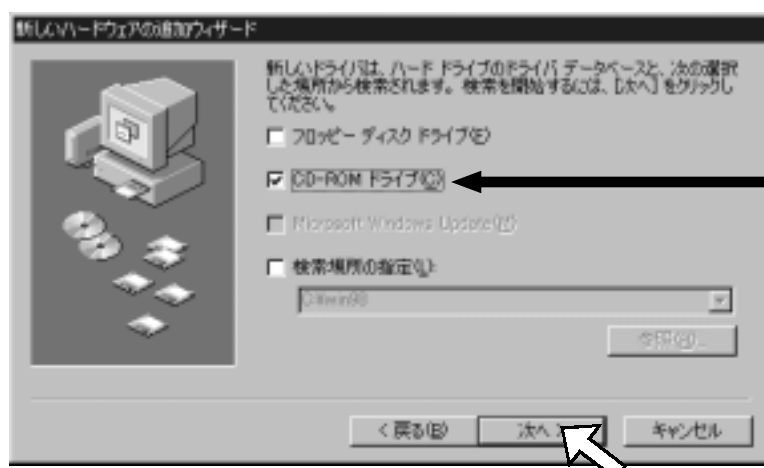
1. DV カメラを接続し、DV カメラの電源を ON にすると、以下の画面が表示されますので、[次へ>]をクリックしてください。



2. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」を選択し、[次へ>]をクリックしてください。



3. 添付の CD-ROM (RATOC IEEE 1394/FireWire Series) をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「CD-ROM ドライブ(C)」にチェックを入れ、[次へ>]をクリックしてください。



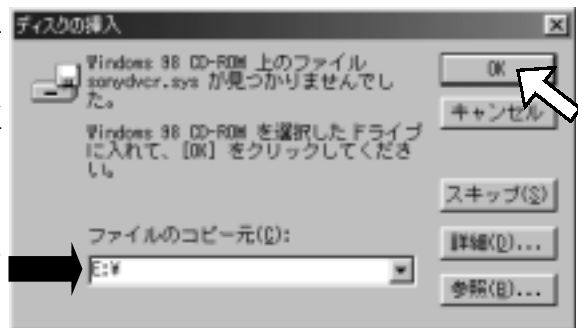
4. [次へ>]をクリックしてください。



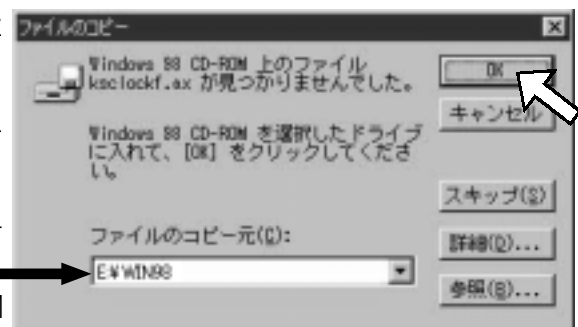
5. **「ディスクの挿入」画面が表示される場合は、**
[OK]をクリックしてください。



- 「Windows 98 CD-ROM 上のファイル sonydvcr.sys が見つかりませんでした。」と表示される場合は、**
[ファイルのコピー元(C):]欄に E:¥ (CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。



- “sonydvcr.sys” 以外のファイルが見つかりませんでしたと表示される場合(「Windows 98 CD-ROM 上のファイル xxxx.xxx が見つかりませんでした。」と表示される場合)は、**
CD-ROM ドライブに Windows98 CD-ROM をセットし、
[ファイルのコピー元(C):]欄に E:¥WIN98



(CD-ROM ドライブが E ドライブの場合)と入力し、[OK]をクリックします。

6. 次の画面が表示されたら、[完了]をクリックしてください。



7. 以上で DV カメラ用ドライバソフトウェアのインストールは完了です。次の方法で、正常にインストールされたことを確認できます。

[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]をダブルクリックして開き、次に[システム]をダブルクリックします。



[デバイスマネージャ]タブをクリックし、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」をダブルクリックします。

図のように「SONY DVCR」が追加されていることをご確認ください。



SONY 製以外の DV カメラを接続した場合も、「SONY DVCR」と表示されますが、異常ではありません。

DV カメラが接続されていない場合は表示されません。

1-3. CCD カメラの接続

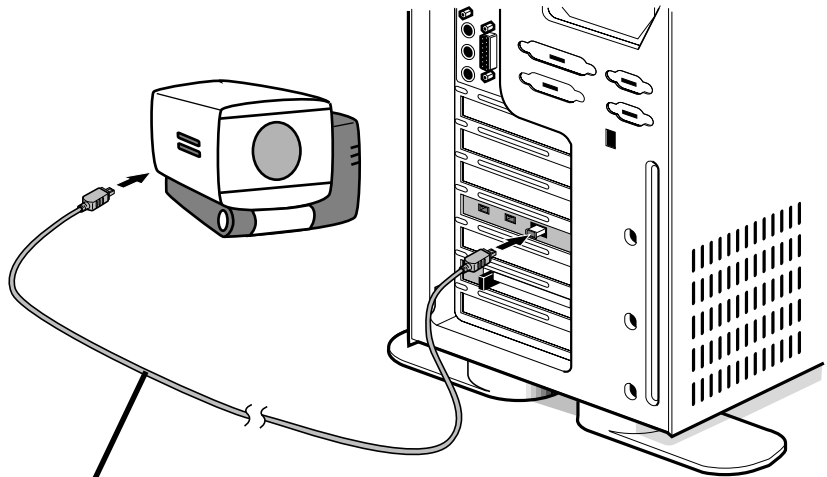
下図を参考にし、IEEE 1394 ケーブルで CCD カメラを接続します。

CCD カメラを接続する場合、内部電源を接続する必要があります。

本書 9 ページ「REX-PCIFW1 (PCI ボード) の取り付け」参照

IEEE 1394 ケーブルは、パソコンの電源を切らずに抜き差しすることができます。

CCD カメラの IEEE 1394 端子の位置につきましては、ご使用の CCD カメラの説明書をご覧ください。



IEEE 1394 ケーブルは、6 ピン - 6 ピンをご使用ください。

IEEE 1394 ケーブルは、添付していません。ご使用の機器の端子形状をご確認の上、接続ケーブルをご購入ください。

はじめて CCD カメラを接続した場合は、「新しいハードウェア」の検出画面が表示されます。次に CCD カメラ専用ドライバのインストール方法を示しますので、手順に従ってインストールを行ってください。

1-4. CCD カメラ用ドライバのインストール

CCD カメラを接続すると、新しいハードウェアが検出され、以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールを行ってください。



上記画面は、SONY 製 CCM-DS250 を接続したものです。接続した機器により、表示される画面は異なります。

次の方法で、正常にインストールされたことを確認できます。

[マイコンピュータ]から[コントロールパネル]をダブルクリックして開き、次に[システム]をダブルクリックします。



[デバイスマネージャ]タブをクリックし、「イメージングデバイス」をダブルクリックします。

接続した CCD カメラが追加されていることをご確認ください。

下図は、SONY 製 CCM-DS250 を接続した場合です。



CCD カメラが接続されていない場合は、表示されません。

1-5. HDD や MO の接続

.....

Windows98 Second Edition, Windows 2000 では IEEE 1394 接続で HDD や MO といったストレージ系の装置をご使用いただけます。

これらの装置は基本的に OS 標準のドライバで動作しますので、接続してすぐご使用になれます。また、1394 ポートからの電源供給で動作する機器に関しては、PICFS3 の電源供給コネクタに PC 本体の電源を挿して

この際に、PCI ボードの電源供給ソケットに PC 本体からの 12V 電源が供給されているか確認してください。供給されていない場合は、パソコンの電源を落とし、コンセントを抜いてから電源供給ソケットに本体の電源を接続してください。

動作確認済み IEEE 1394 機器

.....

本製品は、IEEE 1394 端子(6 ピンもしくは4 ピン DV 端子)を装備した以下の機器で動作確認を行っております。(1999年5月現在)

DV カメラ / デジタルビデオカメラ / DV カムコーダ / DVC / DVCAM / DVCR

- SONY : DCR-PC1, DCR-PC7, DCR-PC10, DCR-SC100,
DCR-TRV5, DCR-TRV7, DCR-TRV9, DCR-TRV10,
DCR-TRV310, DCR-TRV900, DCR-VX1000, DCR-VX9000
- Panasonic : NV-C1, NV-C2, NV-C3, NV-DS9, NV-DJ100
- Canon : FV1, MV1
- Victor(JVC) : GR-DVX7
- Kyosera : DV-L100

CCD カメラ / デジタルカメラモジュール / コミュニケーションカメラモジュール

- SONY : CCM-DS250, DFW-V500, DFW-V300

今後、各社デジタルビデオカメラ、その他 IEEE 1394 機器に対応予定。
ケーブル給電が必要な機器 (CCD カメラなど) を接続する場合は、本製品に内部電源を接続する必要があります。

対応機器の最新情報は弊社ホームページ <http://www.rexpccard.co.jp/> でご確認いただけます。

対応アプリケーションソフトウェア

< ビデオ編集ソフトウェア >

本製品からキャプチャした動画は、DV形式となります。

キャプチャした動画を編集する場合は、DV形式に対応しているアプリケーションソフトウェアを使用するか、もしくはCompressAVI（本製品に添付のユーティリティソフトウェア）にてご使用のアプリケーションソフトウェアに対応したフォーマットに変換する必要があります。

DVキャプチャにより作成されるファイルは、AVI2.0のDVSD形式(本書ではDV形式と表記)のため、従来のAVI形式とは互換性はありません。

< DV キャプチャーソフトウェア >

WDMの1394busドライバに対応のソフトウェアで使用可能です。

対応については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

制限

DV機器から動画をキャプチャする場合は、十分なハードディスクの空き容量と転送速度が必要です。(約4MB/秒)

ケーブル給電が必要な機器を接続する場合は、内部電源を接続する必要があります。

以下のIEEE 1394機器/DV機器では、ご使用いただけません。

DVカメラ SHARP VL-DC5
SHARP VL-PD3

(1999年10月現在)

*各種1394機器の動作に関する最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

PCI-FS3

SCSI 編

ここでは SCSI 機器などのハードウェアを接続する際の注意点、添付ユーティリティの使用方法などが記載されております。

PCIFS3 ユーザーズマニュアル SCSI 編

お問い合わせをする前に	25
製品に関するお問い合わせ	26
1 . REX-PCIFS3 SCSI コントローラについて	27
添付のソフトウェアについて	27
制限	27
空きの IRQ を確認する	28
IRQ の確認	28
2 . SCSI 機器の接続	29
SCSI 機器接続の手順	30
接続できる台数とケーブルの長さ	32
ケーブル接続例	33
3 . パソコンの PCI バスの確認・設定	37
PCI バスの確認	37
4 . SCSI コンフィギュレーションの設定	38
SCSI-BIOS メニュー	38
5 . Windows 98(インストール済み)にて使用する	44
Windows 98 ミニポートドライバのインストール確認	44
SCSI ユーティリティのインストール	47
SCSI 機器の確認	48
スワップファイルを SCSI ハードディスクに	49
6 . SCSI ユーティリティについて	51
REXFMT95 - Windows 98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ	51
WinSSC - Windows 98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ	53
SCUINICW - SCSI コンフィギュレーションユーティリティ	55
プログラム起動方法	55
コンフィギュレーション画面	56
7 . Windows98 起動ディスクでの使用	58
Windows 98 起動ディスクの編集	58

8 . SCSI 部仕様について	59
REX-PCIFS3 SCSI・BUS 仕様	59
REX-PCIFS3 環境仕様 (SCSI 部)	59
9 . トラブルシューティング	60
REX-PCIFS3 のドライバを完全削除するには(Win98)	60
Windows 98 でドライバ更新する場合	62
データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合	65
IDE の CD-ROM が使えない場合	65
SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合	65
SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合 (Win98)	66
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合	66
ドライバがインストールされていないとなる場合 (Win98)	66
全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合 (Win98)	67
その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合 (Win98)	67
その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合 (Win98)	67
PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合 (Win98)	67
PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合	68
SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合	68
SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合	69
UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合	69
REX-PCIFS3 を装着するとシステム起動が遅くなる場合	69
不明なデバイスが検出されると表示の場合	70
フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない	70
SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される	70

お問い合わせをする前に

Windows 98 環境でお問い合わせをする前に、次の内容をご確認ください。

ほとんどの場合、弊社よりご質問いたしますので回答をご用意ください。

1. REX-PCIFS3 を装着後、パソコン起動時に SCSI-BIOS の画面が表示されましたか？
詳細記載ページを参照ください。

YES NO

2. 新しいハードウェアを見つけましたと表示されましたか？
詳細記載ページを参照ください。

YES NO

3. ドライバインストールの確認で、RATOC REX-PCIFS3 SCSI PCI Controller と表示されましたか？
詳細記載ページを参照ください。

YES NO

4. 2. で YES の場合、このデバイスは正常に動作していますと表示されていますか？
詳細記載ページを参照ください。

YES NO

5. 3. で YES の場合、SCSI 機器確認ユーティリティで接続してある SCSI 機器は表示されていますか？
詳細記載ページを参照ください。

YES NO

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社
サポートセンター
TEL 0120-033555(SCSI専用Free Dial)
月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く
FAXでの受付は24時間行っております。
FAX 06-6633-3553
〒556-0012
大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも受け付けております。

ラトックシステムのホームページ
<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E
(SPCVE)
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答いたします。

また、インターネット、NIFTY Serve でのご質問時には、Setup Disk 内の quest.txt の書式をご利用ください。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

1. REX-PCIFS3 SCSI コントローラについて

REX-PCIFS3はIEEE 1394 / Ultra Wide SCSI PCI ホストアダプタボードです。パソコンにIEEE 1394対応機器やUltra Wide SCSI (68pin)のハードディスク、Ultra SCSI (50pin)のハードディスクを接続するために使用します。

また、本製品添付の超高密度68pin 50pin変換ケーブルを使用してMOドライブ、CDRドライブ、スキャナ等も接続して使用することが可能です。

添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスク (SetupDisk 1, SetupDisk 2)には次のソフトウェアが含まれます。

[Windows 98 用]

- Windows 98 用 SCSI ミニポートドライバ(PCIFS3.MPD)
- Windows 98 用インストーラ(SETUP.EXE)
- ハードディスク / 光磁気ディスク用フォーマッタ(REXFMT95.EXE) 1
- 接続 SCSI 機器確認ユーティリティ(WINSSC.EXE) 1
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICW.EXE) 1

1 : ユーティリティのインストールを行わないと実行できません。

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内のREADMEファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

制限

- ・ 付属のユーティリティ REXFMT95、REXFMT ではブートディスクの作成はできません。FDISK、FORMAT コマンドをお使いください。
- ・ クロックアップしたパソコンでは誤動作する場合があります。標準の設定でご使用ください。
- ・ パソコンをスリープにする時、SCSI 機器の電源を切ることはできません。

空きの IRQ を確認する

REX-PCIFS3 を取り付ける前に、使用しているパソコンのリソース、特に IRQ について最低 1 つ以上空きのある状態かどうかを確認してください。

この確認を行わずに REX-PCIFS3 を装着した場合、パソコンが新しいハードウェアを見つけることができず、インストールを行えなくなります。

ただし、IRQ シェアリングモードで使用可能な PCI スロットおよび PCI ボードが装着されている場合は、必ずしも空きの IRQ を確保する必要はありません。

IRQ の確認

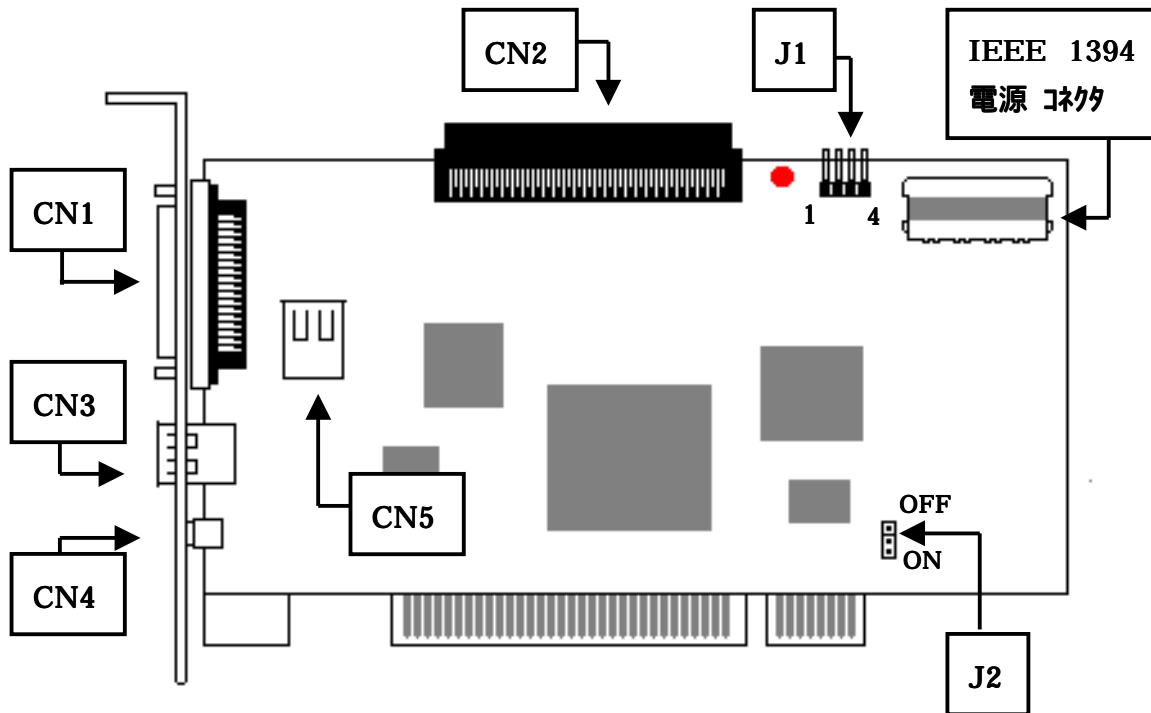
1. Windows 98 の [コントロールパネル] [システム] を開いて [デバイスマネージャ] のタブを選択し、コンピュータのところをダブルクリックします。
2. IRQ の使用されている一覧が表示されます。



3. IRQ 00 ~ 15 まで使用可能です。空いている番号があるか確認してください。この例では、03, 04, 09 が空いています。

2. SCSI 機器の接続

REX-PCIFS3 には二つの SCSI コネクタがあります。また、IEEE 1394 ポートに電源を供給するためのコネクタがついています。



コネクタ名	用途
CN1	外付機器接続用 超高密度 68 ピンコネクタ
CN2	内蔵機器接続用 68 ピンコネクタ(WIDE SCSI)
J1	SCSI Bus ビジー 点燈用信号コネクタ (2 口の場合 3 と 4) ピン 1 と 4 - 電源 ピン 2 と 3 - シグナル(Active Low)
J2	SCSI-BIOS 有効 / 無効設定用
CN3	外部用 IEEE 1394 ポート(6 ピン)
CN4	外部用 IEEE 1394 ポート(4 ピン)
CN5	内部用 IEEE 1394 ポート(6 ピン)
IEEE 1394 ポート用電源コネクタ	IEEE 1394 ポートへ電源を供給するためのコネクタです。本体 PC の電源を接続してください。装置本体に AC アダプタなどを装備した機器(DV カメラ等)では接続の必要はありません。

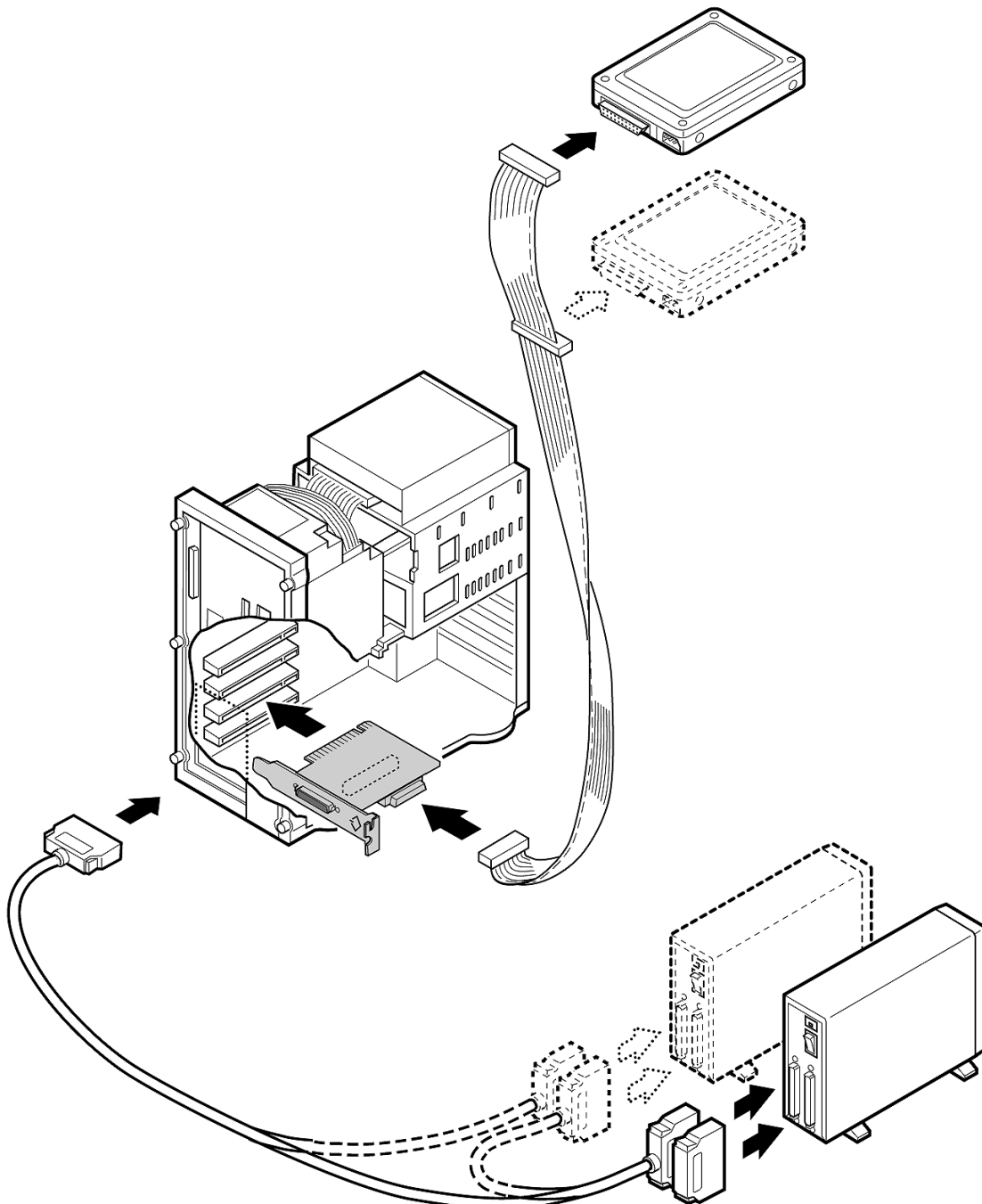
SCSI 機器接続の手順

1. パソコンの電源を OFF にします。電源ケーブルを外します。

内蔵の SCSI 機器を接続する場合はパソコンのふたを開いてください。このとき、あらかじめ静電気を放電するためにパソコン本体の裸金属部に手を触れてください。

2. PCI Bus スロットを確認し図のようにセットします。この例では IDE HDD は省略されており、SCSI 環境の接続レイアウトを示しています。

外部コネクタがシステムユニットの背面に面するように設置し、PCI Bus スロットに合うように挿入してください。金色の接触部が白いソケットに完全に入り見えなくなるまで挿入します。相当の力が必要な場合があります。



挿入後、取り付けパネルのネジを締めボードを固定します。ネジは不要場合があります。図中の 68pin 内部接続用ケーブル、外部ターミネータは添付しておりません。外部接続用「超高密度 68pin 50pin 変換用ケーブル」が添付されています。

内部と外部のコネクタは同時使用可能です。

3. 外部接続 SCSI 機器と内部接続 SCSI 機器をそれぞれのマニュアルに沿ってインストールします。

内蔵 SCSI 機器がない場合は、CN2 へは何も接続する必要はありません。

SCSI 機器は 50pin 接続で 7 台、68pin 接続で 15 台まで接続が可能です。二つのコネクタを同時に使用する場合は SCSI ID が重複しないように設定する必要があります。

4. 接続方法例とターミネータの設定方法を説明します。ターミネータは必ず SCSI Bus ライン上の両端に設定しなければなりません。

内蔵 SCSI の最終端の機器(内蔵用 SCSI HDD 等)は、ターミネータを有効にする必要があります。

外付け SCSI の最終端の機器(外付け用 HDD, MO, スキャナ等)にも、ターミネータが必要です。

REX-PCIFS3 のボード上でのターミネータは、通常 BIOS 設定で Automatic の設定で接続状態を検出して自動的に動作します。この設定の変更は BIOS ユーティリティで行いますが、外付けの SCSI 機器のみ、あるいは内蔵の SCSI 機器のみを使用する場合は Automatic(初期設定)のまま本ボードをご使用ください。外付け 50pin の SCSI 機器と内蔵 68pin の SCSI 機器を同時に接続している場合のみ、SCSI ボードの low ターミネータを OFF、high ターミネータを ON に設定変更してください。

ただし、外部に別売の「超高密度 68pin Wide SCSI 68pin」ケーブルを使用して Wide SCSI 機器を接続し、内蔵 68pin にも Wide SCSI 機器を接続する場合は Automatic でご使用いただけます。

SCSI ID について。

SCSI ID は一つの SCSI Bus ライン上に同じ番号があってはなりません。50pin 外部機器は 0~6 を 68pin 内部機器へ 8~15 を割り当てるなど決めておくことと重複を避けることができます。番号が同一にならないよう注意してください。

内部接続用 SCSI ケーブルは別途用意してください。CN2 コネクタには内蔵用 68 ピンケーブルを差し込みます。

コネクタのピンが折れないように注意してまっすぐに装着してください。

付属の外部接続用 SCSI ケーブルは CN1 コネクタを使用して接続します。

コネクタのピンが折れないように注意してまっすぐに装着してください。Wide SCSI 機器へ接続する場合は別途「超高密度 68 ピン Wide SCSI 68 ピン」ケーブルをお求めください。

必須事項ではありませんが内蔵 SCSI 機器にアクセスしているときのアクセスランプを点灯することができるパソコンがあります。

パソコンの取扱説明書に書かれているハードディスク LED Cable を J1 のコネクタに差し込みます。2 口ケーブルの場合、3 番 4 番に差し込みます。

詳しくはお手持ちのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。

すべての作業完了後、パソコンのカバーをもとに戻します。これで REX-PCIFS3 のハードウェアの取り付け完了です。

次にパソコンの PCI バスの確認・設定を行います。

接続できる台数とケーブルの長さ

SCSI デジチェーン接続して使用する場合、REX-PCIFS3 に添付してあるケーブルのインピーダンス特性と一致したものを使用する必要があります。

インピーダンスが、90 Ω タイプの SCSI ケーブルをご使用ください。

SCSI 機器は理論上 15 台まで接続可能です。ただし、Wide に対応していない機器は 7 台までです。

SCSI 機器が、Ultra Wide および Ultra SCSI 対応か FAST SCSI 対応かによって接続できる SCSI 機器の台数と接続に使用する SCSI インターフェイスケーブルの長さの合計が異なります。

以下に表記してある長さは、SCSI 機器の内部配線および内蔵ケーブルを含みます。

UltraWide および Ultra SCSI 機器が 1 台でもある場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 3 台	3 メートル以下
4 ~ 15 台	1.5 メートル以下

すべて FAST SCSI 機器の場合

接続台数	ケーブルの長さの合計
1 ~ 7 台	3 メートル以下

上記の記載項目はあくまで SCSI 規約に基づくものです。実際には、接続する SCSI 機器や SCSI ケーブルの性能に影響されます。

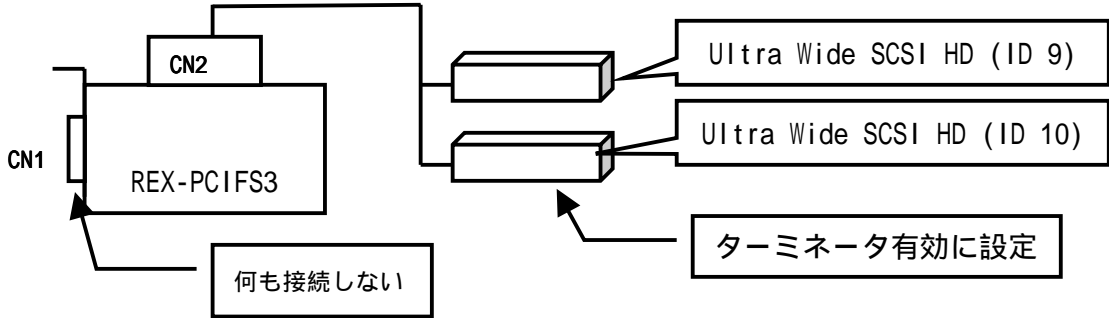
また、SCSI 変換コネクタを使用すると SCSI バスの状態が悪くなる場合があるため、SCSI 変換コネクタでの接続はお勧めしません。

ケーブル接続例

ここでは、色々な組み合わせでの機器接続の例と SCSI ボードのターミネータ設定について説明します。

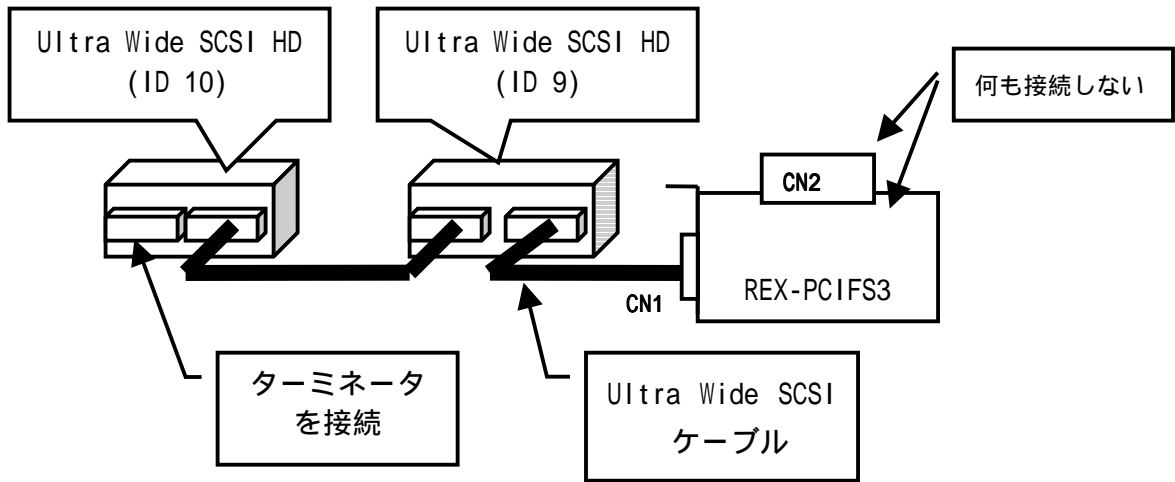
内蔵 Ultra Wide SCSI 機器のみの場合

SCSI ボードのターミネータ設定…………… Automatic に設定



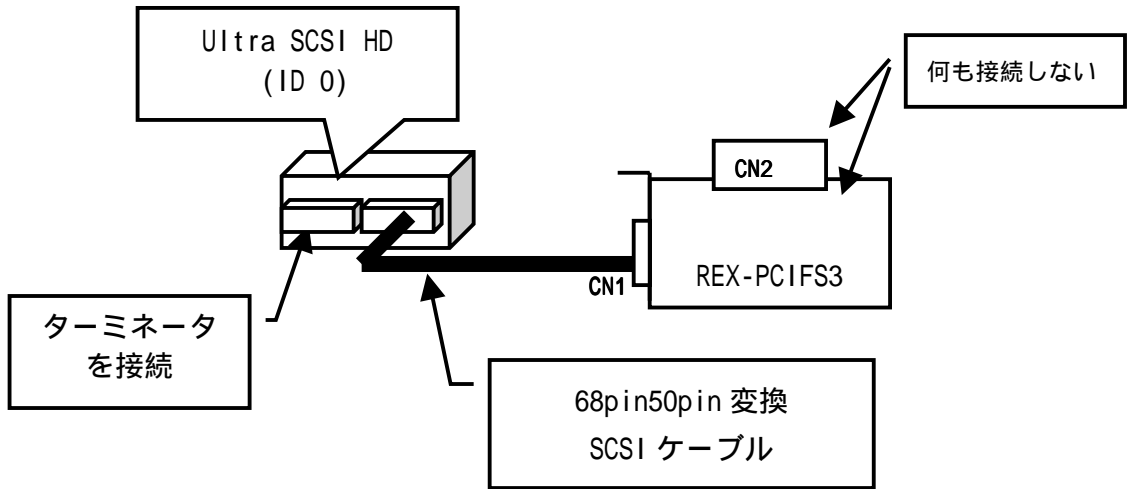
外部 Ultra Wide SCSI 機器のみの場合

SCSI ボードのターミネータ設定…………… Automatic に設定



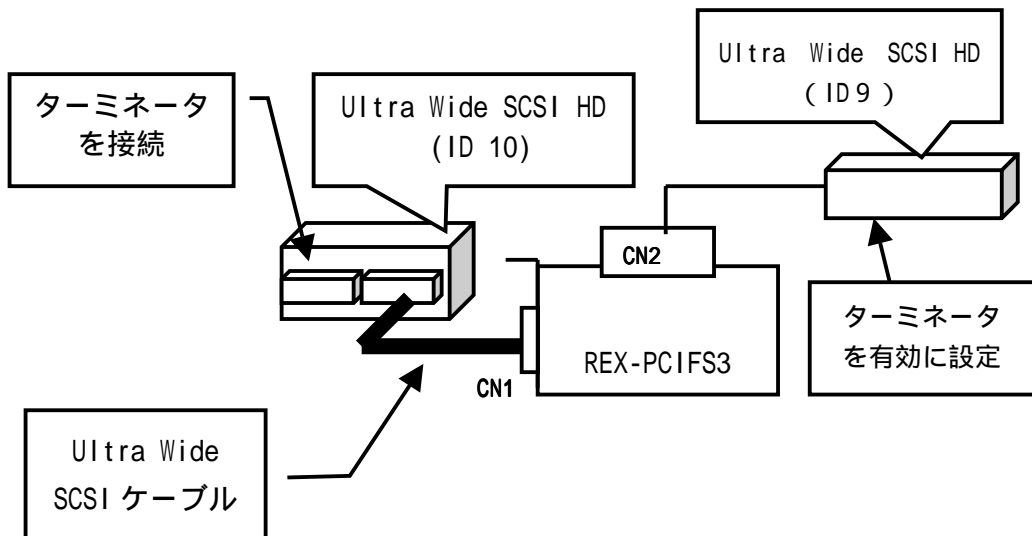
外部 Narrow SCSI 機器のみの場合

SCSI ボードのターミネータ設定…………… Automatic に設定



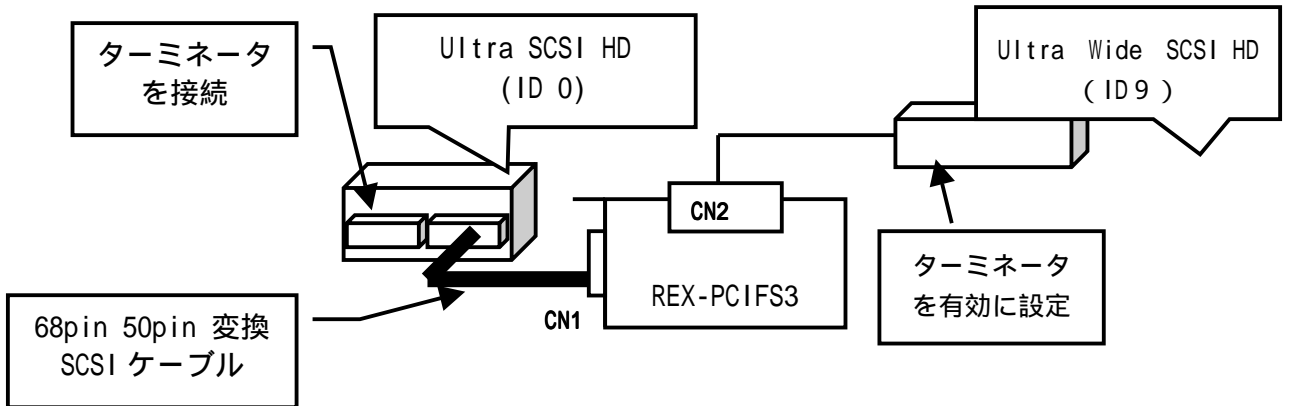
外部 Ultra Wide SCSI 機器と内蔵 Ultra Wide SCSI 機器を接続する場合

SCSI ボードのターミネータ設定…………… Automatic に設定



外部 Narrow SCSI 機器と内蔵 Ultra Wide SCSI 機器を接続する場合

SCSI ボードのターミネータ設定…………… High ON / Low OFF に設定



3. パソコンのPCIバスの確認・設定

REX-PCIFS3 を取り付けたパソコンのPCIバスの確認および設定を行います。
これらの作業は、インストールのトラブルを避けるためにも行ってください。

PCIバスの確認

パソコンのBIOSメニューから以下の項目を探してみます。
これらの項目は、パソコンによって表記が異なります。パソコンのマニュアルを参照してください。

PCIスロットの有効/無効

該当するスロットを有効にします。

ISAスロットのIRQの設定

“USED”を選択します。

PCIスロットの使用するIRQの範囲

1つ以上確保してください。

接続しているSCSI機器の電源をONにした状態で、システム立ち上がり時、以下の画面が表示されれば、PCI-BIOSレベルでは正常に動作しています。

SCSI-BIOS スタート画面

```
RATOC REX-PCI33/PCIFS3 BIOS Ver XXX
Copyright Initio Corporation / RATOC Systems, Inc.
!!! Press < Ctrl > <I> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < Ctrl > <B> for Smart SCSI Setup Utility !!!
!!! Press < ESC > to continue.                !!!

SCSI ID 0A SEAGATE ST34502LW - Drive X: (8xh)
SCSI ID 0B SEAGATE ST39102LW - Drive X: (8xh)

SCSI BIOS install 1
```

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合は、「SCSIボードの取り付け」を再度確認してください。

1 ブート可能ディスクが接続されていない場合、表示されません。SCSI-BIOSは常駐されません。

4. SCSI コンフィギュレーションの設定

この章では、REX-PCIFS3 に対する SCSI 環境の設定を行う方法を説明します。
システム立ち上がり時、SCSI-BIOS のスタート画面表示中に<Ctrl + I>で表示させます。
通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

また、システムの異なる環境で使用していたハードディスク等を新たに接続する場合、Disk Utility にて Format Disk (物理フォーマット) を実行することをお勧めします。
メニュー構成を示します。

SCSI-BIOS メニュー

Main Menu

```
RATOC REX-PCI33/PCIFS3 SmartSCSI™ Setup Utility Ver XXX (C)1994-xx
      PCI Bus : 00   Device : 13H   Port : FC00H   IRQ : 10

Scan Bus  Device Setup  Adapter Setup  BIOS Setup  Disk Utility
```

キー操作方法

ESC : 終了します。Exit Setup? とメッセージが表示されます。終了する場合、Yes を選択します。

第 4 章 SCSI コンフィギュレーションの設定

Scan Bus SCSI 機器が正しく接続されているか、確認できます。

```
                Press any Key to exit
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FUJITSU  M2513A           1500
ID:   省略
ID:7  RATO C  REX-PCIFS3  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

確認したら何かキーを押してください。

接続した SCSI 機器が表示されない場合、以下の項目（電源 - 接続 - ターミネータ）を確認して、もう一度 Scan Bus を選択します。

電源：SCSI 機器の電源が入っていない。

接続：SCSI 機器へのケーブルが正しく接続されていない。

機器の設定：SCSI ID 番号が他の機器または、REX-PCIFS3 と重なっている。

（ REX-PCIFS3 は、出荷時の SCSI ID 番号は 7 番に設定されています。 ）

ターミネータ：SCSI 機器側のターミネータが取り付けられていない。

Device Setup

```
SCSI Device ID      #0  #1  #2  #3  #4  #5  #6  #7
Asynchronous Transfer      no
Max Synchronous Transfer40
DOS.Space > 1GB      Yes      省略
Spin up Disk Drive      Yes
Enable Disconnect      Yes
Enable Wide Negotiation  Yes

SCSI Device ID      #8  #9  #10 #11 #12 #13 #14 #15
Asynchronous Transfer      no
Max Synchronous Transfer40
DOS.Space > 1GB      Yes
Spin up Disk Drive      Yes      省略
Enable Disconnect      Yes
Enable Wide Negotiation  Yes
```

Asynchronous Transfer

非同期の転送に設定する場合、Yes にします。(初期値 No)

Max Synchronous Transfer (初期値 40)

同期時の最大転送速度を 40.0, 26.6, 20.0, 16.0, 13.2, 11.4, 10.0 で設定します。

DOS.Space > 1GB

Yes : 1GB ~ 8GB までのハードディスクに対して 255 ヘッド、トラックあたり 63 セクタのパラメタでアクセス。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。(初期値)

No : 1GB 以下のハードディスクに対して 64 ヘッド、トラックあたり 32 セクタのパラメタでアクセス。途中で設定を変更するとデータは破壊されます。

Spin up Disk Drive

SCSI ハードディスクの完全な始動をパソコン立ち上がり時に行うかを指定します。

Yes : 始動を行います。(初期値)

No : 始動を行いません。

Enable Disconnect

切断を行い、他の SCSI デバイスへのサービスを行うかどうかを選択します。

Yes : ディスコネクト/リコネクトを行います。(初期値)

No : ディスコネクト/リコネクトを行いません。

Enable Wide Negotiation

Yes : 16bit バスの接続を有効にします。接続されている機器が 8bit バスの場合自動的に Wide ネゴシエーションを行いません。(初期値)

No : 8bit バスの SCSI 機器が接続されていることを設定します。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
設定値を保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値の変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

Adapter Setup

Host Adapter SCSI Bus ID	7
SCSI Terminators	Automatic
SCSI Parity Check ON	Yes
Reset SCSI Bus at Power-up	Yes
SCSI Reset Recovering Time	6

Host Adapter SCSI ID

ホストアダプタの NO を変更する場合、指定します。0-15 （初期値 7）

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7 の範囲で設定してください。

SCSI Terminators

Automatic : SCSI Board のターミネータ設定は、自動設定になっています。（初期値）

High ON / Low ON : ターミネータ有効

High OFF / Low OFF : ターミネータ無効

High ON / Low OFF : High ターミネータ有効、Low ターミネータ無効

内蔵 68 ピン Wide SCSI 機器を接続し、外部に「超高密度 68 ピン 50 ピン変換ケーブル」を使用して 50 ピンコネクタの SCSI 機器に接続する場合に限り、High ON / Low OFF の設定にする必要があります。

SCSI Parity Check ON

SCSI 機器のパリティチェックの有効 / 無効を選択します。

Yes : パリティチェックする。（初期値）

No : パリティチェックしない。

Reset SCSI Bus at Power-up

システム起動時の SCSI 機器へのリセット発行の有効 / 無効を選択します。

Yes : 接続機器へリセットを発行する。（初期値）

No : 接続機器へリセットを発行しない。

SCSI Reset Recovering Time

リセット後に次のコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器へのリセット発行後、次の SCSI コマンドを発行するまでのウェイト時間を秒数で指定します。1-20 （初期値 6）

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
変更を破棄する場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値の変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

BIOS Setup

Enable Host Adapter BIOS	Yes
Boot Device ID	0
BIOS Support for Bootable CD-ROM	Yes
BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk	No

Enable Host Adapter BIOS

SCSI-BIOS をメモリに常駐するかどうかを設定します。

Yes : 常駐します。(初期値)

ただし boot UP 可能なデバイスが接続されている場合に限りです。

No : 常駐しません。SCSI-BIOS から SCSI 機器をコントロールしません。

Boot Device ID

SCSI ハードディスクからブートする場合その SCSI ID NO を指定することができます。
(初期値 0)

BIOS Support for Bootable CD-ROM

SCSI-BIOS から SCSI CD-ROM のブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。

Yes : 常にブートしようとします。

No : Ctrl + B を押したときだけブートします。(初期値)

Windows NT4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしていません。

BIOS Treat Removable Disk as Fixed Disk

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。ただしイジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

No : 固定ディスクと同様に扱いません。(初期値)

Yes : 固定ディスクと同様に扱います。

キー操作方法

ESC : 終了 変更がある場合 Save Change ? の問い合わせがあります。
保存しない場合、NO を選択します。

カーソルキー : 項目の移動を行います。

+ : 値の変更。

F8 : 出荷時の初期値設定。 Load Defaults ? の問い合わせがあります。

Disk Utility

```
                Select Device ID
ID:0  no device
ID:1  SEAGATE ST39102LW           0004
ID:2  FIJITSU  M2513A           1500
ID:   省略
ID:7  RATOOC  REX-PCIFS3  H/A
ID:8  no device
ID:9  SEAGATE ST34502LW           0004
ID:   省略 (以下 ID 15 まで続く)
```

ハードディスクおよびリムーバブルディスクを選択できます。
選択後、Verify Disk または Format Disk を選択します。

Verify Disk を選択し実行すると、ハードディスクに不良セクタがあるかどうかの確認ができます。

Format Disk を選択し実行すると、ディスクの物理フォーマットを行います。
ディスクが以前に PC-9821 のシステム、または Macintosh などの DOS/V と異なる場合、
まず Format Disk を行いクリアな状態にしてから使用することをお勧めします。
ディスクの内容は消去されますのでご注意ください。

物理フォーマットの所要時間は、接続した HD、MO 等の性能により大きく異なります。
例のような、SEAGATE ST34502LW の場合、約 10 分かかります。
SEAGATE ST39102LW の場合、約 20 分かかります。
SEAGATE ST34501W の場合、約 90 分かかります。

実際にドライブとして使用するには、各オペレーティングシステム上でフォーマット操作も必要になります。

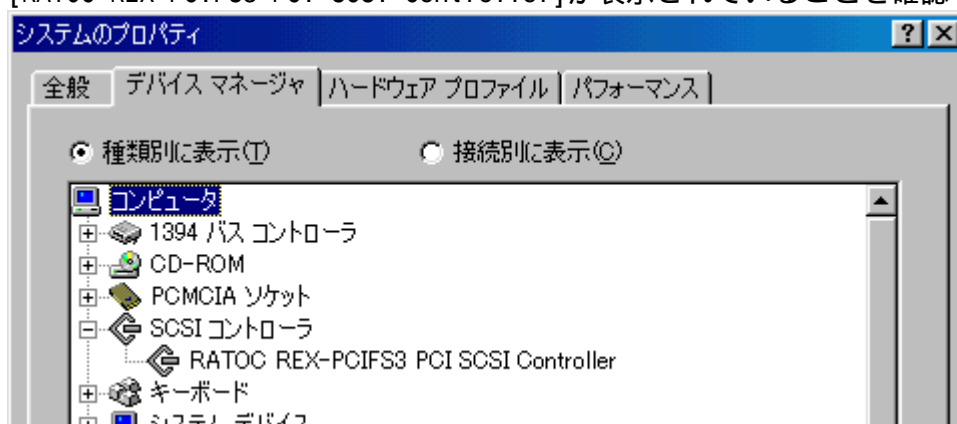
5. Windows 98(インストール済み)にて使用する

Windows 98 のインストール済みパソコンへ REX-PCIFS3 を取り付ける場合を説明します。
本製品添付の SetupDisk 1 を用意してください。

Windows 98 ミニポートドライバのインストール確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows 98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目左のプラス記号(+)をクリックして、[RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller]が表示されていることを確認します。



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されたか確認してください。

表示されなかった場合、PCI バスの確認(P37)に戻ってください。

[RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller] 項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。

「!」「?」表示がある場合は、ドライバが正しくインストールされていません。

「X」表示がある場合は、ドライバの動作を停止しています。

4. [RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller]のプロパティウィンドウを表示してドライバが正常に動作されているか確認します。



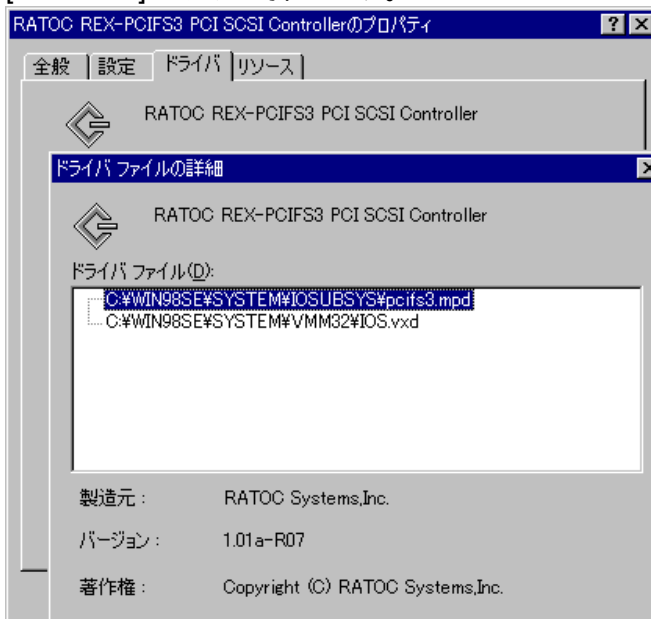
[全般] タグをクリックして [このデバイスは正常に動作しています] が表示されていることを確認します。

5. [設定] タグを押します。



この項目では、設定および確認することはありません。

6. [ドライバ]のタグを押します。



ミニポートドライバの場所とバージョン等を確認できます。

7. [リソース]のタグを押します。



IRQ、メモリ、I/O アドレスが確保されており「競合なし」になっていることを確認します。本製品は、プラグアンドプレイ機能により、競合しないように自動的に設定をおこないます。基本設定を変更しても競合する場合、システム資源不足により使用できません。他のボードを取り外してください。もしくは、COM1、COM2、パラレルポートを無効にしてシステム資源を確保してください。

SCSI ユーティリティのインストール

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE)、SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) のインストールを行います。

1. 添付の **Setup Disk1** をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリの **SETUP.EXE** をダブルクリックして起動します。



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に[REX SCSI ユーティリティ]が追加されています。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95.EXE) とは：
HD, MO の WINASPI 対応フォーマッタです。
REX-PCIFS3 に接続された MO, PD をフォーマットする場合、本プログラムをお使いください。HD は FDISK プログラムをご使用ください。
詳しくは、フォーマットユーティリティ (P51)を参照してください。

SCSI 機器確認 (WINSSC.EXE) とは：
REX-PCIFS3 に接続された SCSI 機器の接続状況、詳細情報を表示します。
SCSI 機器が接続されているか確認するとき、本プログラムをお使いください。詳しくは、SCSI 機器確認ユーティリティ (P53)を参照してください。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICW.EXE) とは：
REX-PCIFS3 の SCSI 構成情報を変更します。
特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。詳しくは、SCSI コンフィギュレーション (P43)を参照してください。

SCSI 機器の確認

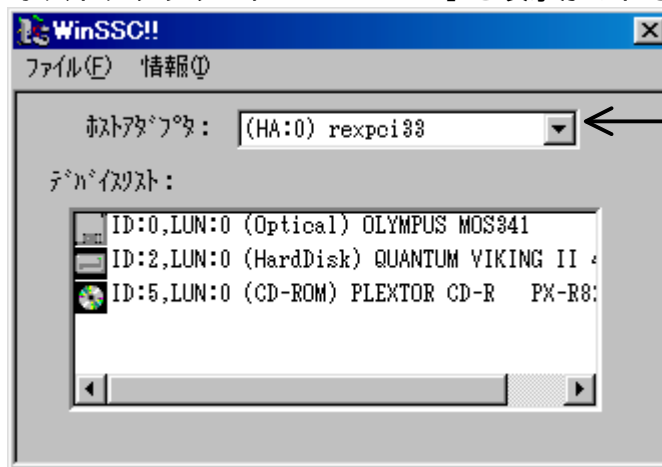
SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

まだ、SCSI 機器を接続していない場合、または電源が入っていない場合、SCSI 機器の接続を行い、電源をいれてパソコンの再起動をしてください。

1. SCSI 機器の接続確認をします。

[スタート] [プログラム] [REX SCSI ユーティリティ] [SCSI 機器確認] を実行します。

2. ホストアダプタ：に「rexPCIFS3」と表示がされるように変更します。



ホストアダプタに ESDI と表示されることがあります。
これは、パソコン本体の IDE CD-ROM が表示されるためです。
「rexPCIFS3」に変更します。

例のように接続されている機器が表示されていれば、REX-PCIFS3 と SCSI 機器は完全に正しく動作しています。表示されない場合および「rexPCIFS3」に変更できない場合、「WinSSC- Windows98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ」(P53) を参照してください。

3. HD/MO/CD-ROM を接続した場合、マイコンピュータにそれぞれのアイコンが表示されています。

スワップファイルを SCSI ハードディスクに

この項目は SCSI ハードディスクより Windows 98 を起動している場合、関係ありません。EIDE ハードディスクより Windows 98 を起動する場合、パフォーマンス向上のためスワップファイルを高速な SCSI ハードディスクに変更する方法です。

C ドライブ(EIDE)に設定されているスワップファイルを D ドライブ(SCSI)に変更する例を示します。

マイコンピュータのアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択します。

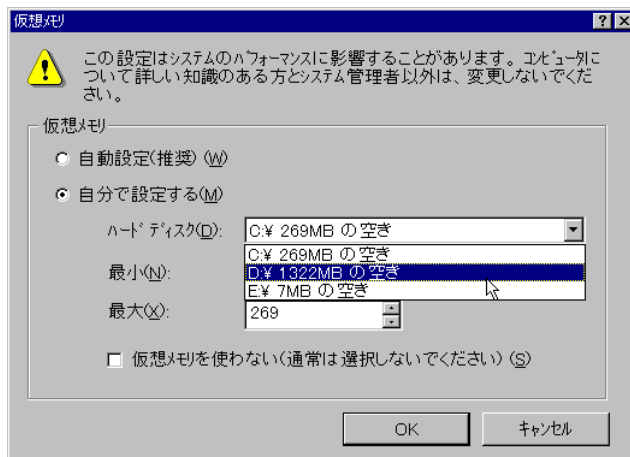
パフォーマンスのタグを選択します。



仮想メモリを選択してください。

[自分で設定する]を選択しハードディスクを D ドライブに変更します。

再起動すると設定が有効になります。



6. SCSI ユーティリティについて

この章では、添付ディスク(Setup Disk1)に含まれるユーティリティソフトウェアについて説明していきます。

REXFMT95 - Windows 98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

REX-PCIFS3 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。

次のように接続されている機器のインクアイリ情報がホストアダプタごとに表示されます。フォーマットしたい機器を選択し[セレクト]を押します。



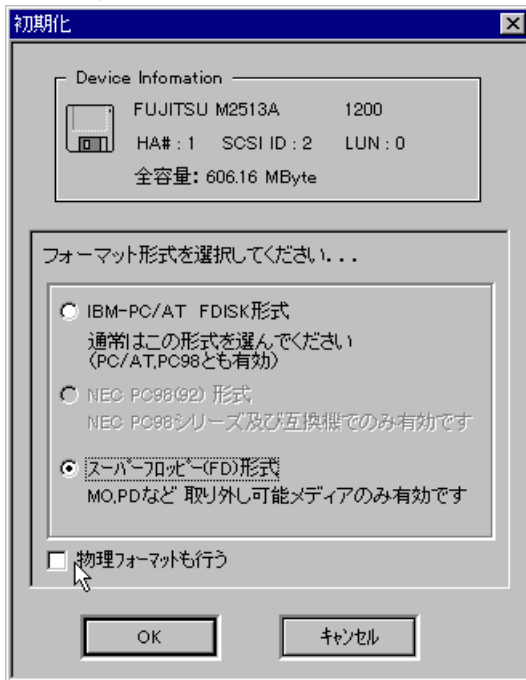
2. 選択後、次の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで[メディアの初期化]を選択します。[処理]タグの[メディアの初期化]を選択する方法もあります。



本プログラムの制限：

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。DOS/V ブートディスクの作成はできません。ブートディスクを作成する場合は、FDISK および FORMAT コマンドをご使用ください。

- 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、640M0 をフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

- フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。
本プログラムは FAT32 をサポートしていますのでファイルシステムにて FAT32 を選択することが可能です。



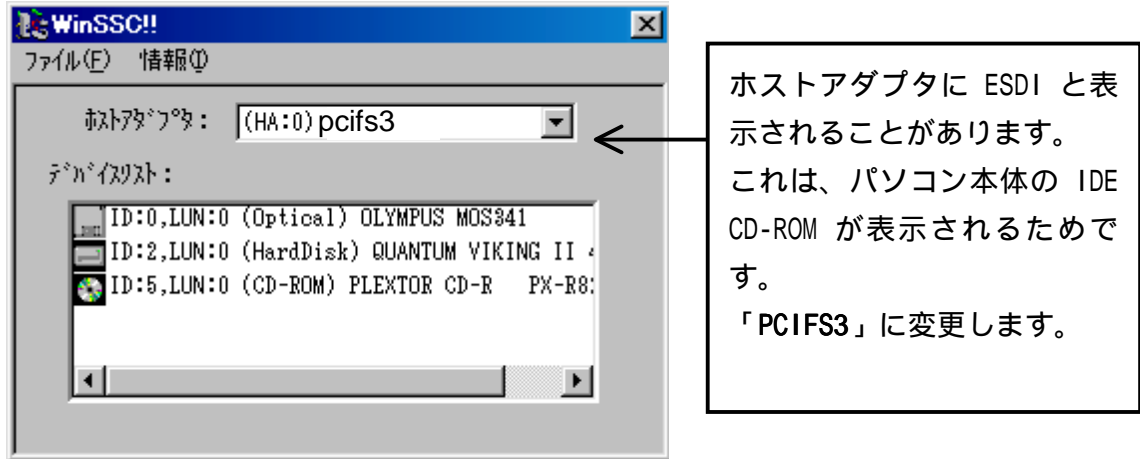
FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。
(Windows95B(OSR2), Windows 98 でのみサポートしています)

- フォーマット完了後、システムを再起動してください。

WinSSC - Windows 98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器をWindows 98上から確認するためのユーティリティです。必ずパソコン起動前に、SCSI機器の電源を入れてください。

[スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[SCSI 機器確認]を起動します。



[ホストアダプタ:]

接続されている SCSI インターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンでは、この覧を [PCIFS3] が表示されるように変更してください。

「PCIFS3」と表示されないまたは変更できない場合、以下の原因が考えられます。

- REX-PCIFS3 のドライバが正しく動作していない。
- SCSI ケーブルが正しく接続されていない。(断線の可能性)
- 他メーカーの SCSI PC カードケーブルを使用している。
- SCSI 機器の電源が入っていない またはターミネータの設定がされていない。

[デバイスリスト:]

接続されている SCSI 機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- SCSI 機器 ID 番号 (ID:)
- ロジカルユニット番号 (LUN:)
- デバイスタイプ (カッコ内)
- ベンダ名および型番

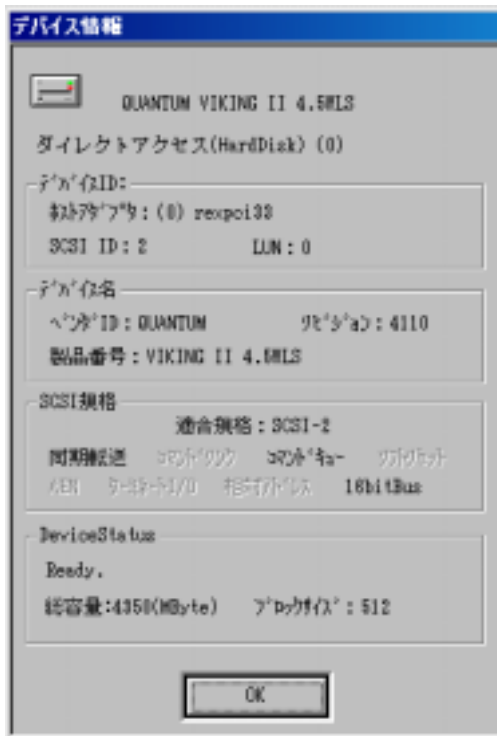
[再スキャン]

[ファイル]メニューの[再スキャン]は、最新情報を表示させるための機能です。

また、情報を確認したい機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

SCSI機器の詳細情報の例

ハードディスクドライブの例

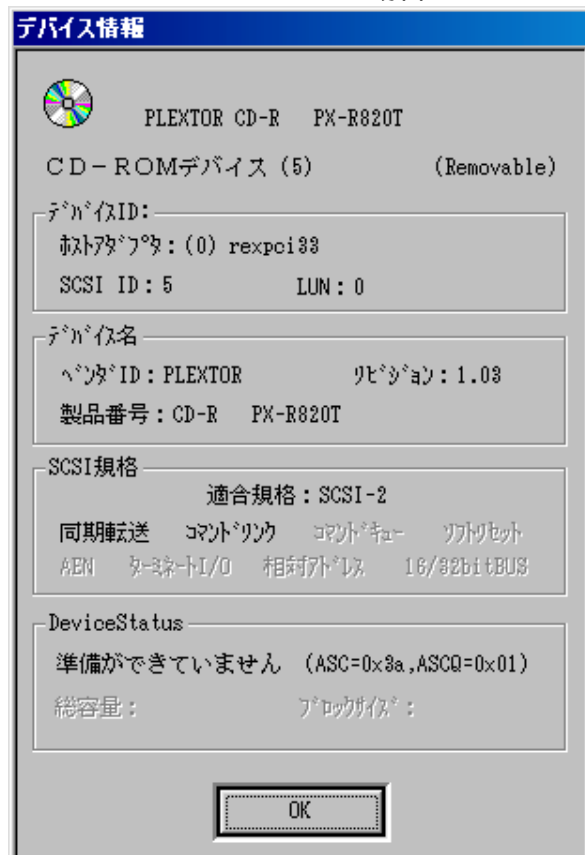


MO ドライブの例



CD-ROM Writer の場合

Device Status の欄に「準備ができていません」と表示されますが、CD-ROM、CD-R、リムーバブルディスク等では、メディアが挿入されていない場合も「準備ができていません」と表示されます。これで正常な状態です。



SCUINICW - SCSI コンフィギュレーションユーティリティ

ここでは、SCSI コンフィギュレーションユーティリティプログラム(SCUINICW.EXE)の使用方法を説明します。 REX-PCIFS3 の EEPROM に SCSI 構成の設定値を参照および更新します。通常、初期値にてご使用できますが接続する SCSI 機器によっては変更する必要がある場合があります。必ず起動する前に、すべてのプログラムの実行を終了してください。また、SCSI 機器が接続されている場合は、念のために Windows を終了して一時的に SCSI 機器を取り外してください。

通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

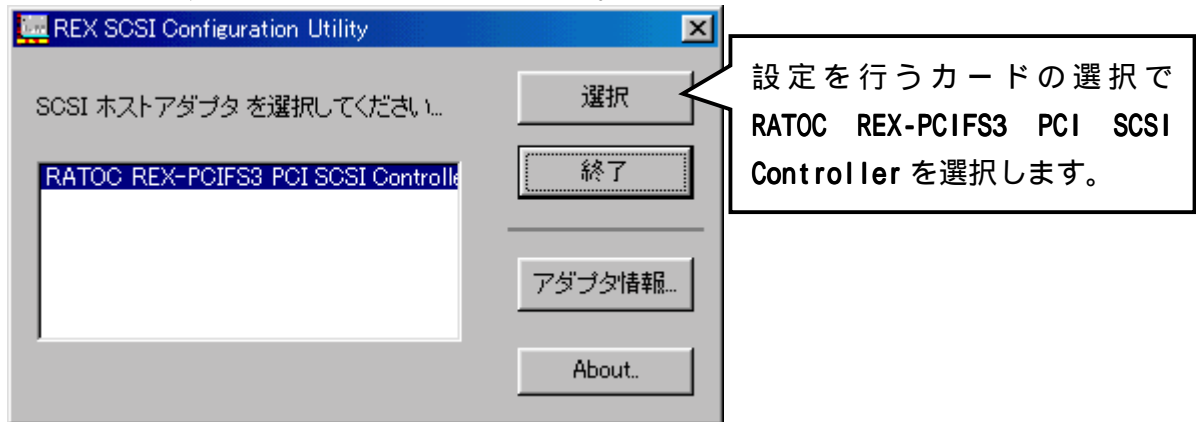
- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

プログラム起動方法

[スタート] ボタンから [プログラム] [REXSCSI ユーティリティ] [SCSI コンフィギュレーション] を実行します。

実行中の他のプログラムをすべて終了させてください。

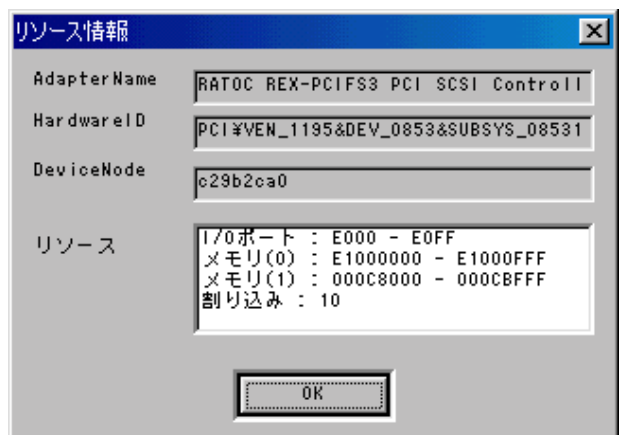
不可能な場合、「終了」を選択してください。



次項のコンフィギュレーション画面にて設定を、参照および更新してください。

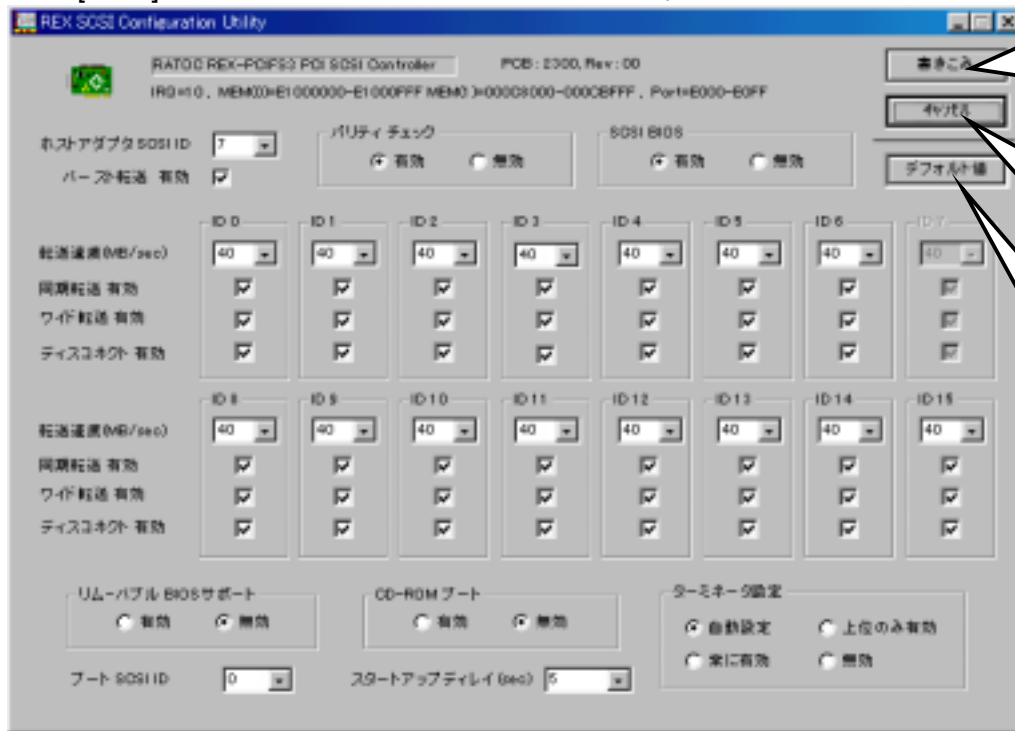
設定を終了したら [書き込み] を押してください。設定値が REX-PCIFS3 に書き込まれます。

アダプタ情報を選択すると右図のようにリソース情報が表示されます。



コンフィギュレーション画面

[選択]を選択すると次の画面が表示されます。



設定値の書き込みを行います

書き込まずに終了します。

設定値を初期値にします。

【ホスト SCSI ID】 < 選択値：0 ~ 15 初期値：7 >

SCSI 機器で 7 以外使用できない場合のみ変更してください。

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7 の範囲で設定してください。

【バースト転送】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

PCI バーストがサポートされていない環境の場合、無効に設定してください。

【パリティチェック】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

パリティチェック機能のない旧式の SCSI 機器がある場合のみ無効にしてください。

【SCSI BIOS】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

本設定を無効にすると SCSI-BIOS はメモリに常駐しません。

【転送速度】 < 選択値：40 ~ 5 初期値：40 >

転送速度は SCSI カードと SCSI 機器の最初のネゴシエーション時に 40、26.6、20、16.6、13.2、11.4、10、5MB/S と落として可能な速度を決定します。

【同期転送】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

非同期の SCSI 機器の場合、無効（非同期）を選択してください。

また、動作が安定しないとき無効に設定してみてください。

【ワイド転送】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

ワイド転送できない SCSI 機器の場合、自動的にワイド転送モードでなくなります。自動切換えができない場合、無効に設定します。このとき転送速度の数値が半分の値に変更されます。

【ディスクコネク】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

この指定を有効にすると SCSI デバイスを一時的に SCSI バスから切り離すことができます。これによりデバイスを一時的に切り離している間に、SCSI カードがバスの他の機能を高速に実行できることがあります。バスが必要な場合に、デバイスと SCSI カードを再度接続することができます。

SCSI 機器接続時動作が安定しない場合、同期転送無効、ワイド転送無効、ディスクコネクト無効の設定にしてみてください。

【リムーバブル BIOS サポート】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。

有効にした場合、イジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

【CD-ROM ブート】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

SCSI CD-ROM ドライブよりブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。

無効にした場合は、Ctrl+B を押したときのみ、この機能が働きます。

WindowsNT 4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしていません。

【ターミネータ設定】 < 初期値：自動設定 >

自動設定：SCSI ボード上のターミネータは、接続状態に応じて自動的に設定されます。

上位のみ有効：High ターミネータ有効。Low ターミネータ無効。

常に有効：High ターミネータ、Low ターミネータともに有効。

無効：High ターミネータ、Low ターミネータともに無効。

内蔵 68 ピンコネクタに Wide 機器を接続して、外部コネクタに 68 ピンから 50 ピン変換ケーブルを使用して 50 ピンコネクタの SCSI 機器に接続する場合に限り、**上位のみ有効**の設定にする必要があります。

【ブート SCSI ID】 < 選択値：0 ~ 15 初期値：0 >

SCSI ハードディスクからブートする場合、対象とする SCSI ID を指定します。

【スタートアップディレイ】 < 選択値：1 ~ 20 初期値：6 >

リセット後に次のコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器へのリセット発行後、次の SCSI コマンドを発行するまでのウェイト時間を秒数で指定します。

7. Windows98 起動ディスクでの使用

この章では、Windows 98 起動ディスク（フロッピーディスク）よりシステム起動して REX-PCIFS3 に接続した SCSI CD-ROM をアクセスする方法について説明します。

SCSI CD-ROM をアクセスできるようになったあと Windows 98 の CD-ROM より SETUP.EXE を起動することが可能となり Windows 98 のインストールを行えます。

Windows 98 起動ディスクの編集

Windows 98 の起動ディスクより、REX-PCIFS3 に接続してある SCSI CD-ROM より Windows 98 をインストールしたい場合、次の様に行います。

Windows 98 の起動ディスクの初期メニューで“Start computer with CD-ROM support”が選択できますが、そのままでは SCSI CD-ROM をアクセスできません。

この CD-ROM は IDE の CD-ROM を示します。SCSI CD-ROM からのインストールの場合以下の手順で編集が必要です。

1. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の CONFIG.SYS を編集してください。

変更前：

変更後：

```
[CD]
device=himem.sys /testmem:off
device=oakcdrom.sys /D:mscd001
device=btosm.sys
device=flashpt.sys
device=btcdrom.sys /D:mscd001
device=aspi2dos.sys           - >   削除
device=aspi8dos.sys          - >   削除
device=aspi4dos.sys          - >   device=ASP850.SYS /D
device=aspi8u2.sys           - >   削除
device=aspicd.sys /D:mscd001 - >   device=REXCD.SYS /D:mscd001
```

2. Windows 98 の起動ディスク(1/2)の aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys を削除します。
3. REX-PCIFS3 の Setup Disk1 の DOS ディレクトリより ASP850.SYS と REXCD.SYS を、Windows 98 の起動ディスク(1/2)にコピーします。
4. Windows 98 の起動ディスク(1/2)よりシステム起動し、Start computer with CD-ROM support を選択します。
以降、SCSI CD-ROM が割り当てられますので、そこから SETUP を行います。

8. SCSI部仕様について

この章では、SCSI に関する補足説明を行います。

REX-PCIFS3 SCSI・BUS仕様

項目	内容
SCSIインターフェイス	Ultra Wide SCSIおよびUltraSCSI データバス幅16ビットおよび8ビット 最大同期転送速度 40MB/sec (MAX)
インターフェイス	32ビットPCIバス Rev 2.1準拠
データ転送方式	バスマスタ・バースト転送
SCSI内部コネクタ	CN2 - 高密度68ピン SCSI-3 Pコネクタ
SCSI外部コネクタ	CN1 - 超高密度68ピンコネクタ
I/Oアドレス	100hバイト xx00h ~ xxFFh PCI BIOSより割り当て
BIOSメモリ	32Kメモリ空間 PCI BIOSより割り当て

REX-PCIFS3 環境仕様 (SCSI 部)

項目	内容
DC電圧	5.0V ± 5%
サイズ	奥行き128mm × 高さ86mm (突起物を除く)
動作保証温度	0 ~ 55 (結露しないこと)
保存保証温度	-20 ~ 70 (結露しないこと)

9. トラブルシューティング

REX-PCIFS3 のドライバを完全削除するには(Win98)

Q:

インストールの途中で、Setup Disk1 からの読み込みを行わず「完了」を押してしまいました。再度、REX-PCIFS3 を装着しましたが、新しいハードウェアの追加が行われません。

A:

インストールに失敗した場合など REX-PCIFS3 環境を完全に取り除く方法を説明します。以下の3つの作業からなります。

- デバイスツリーからの削除
- ドライバファイルと INF ファイルの削除
- レジストリの削除

デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグを選択するとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI BOARD を削除します。
[SCSI コントローラ] の [+] をクリックして [RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller...] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
SCSI コントローラにない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。

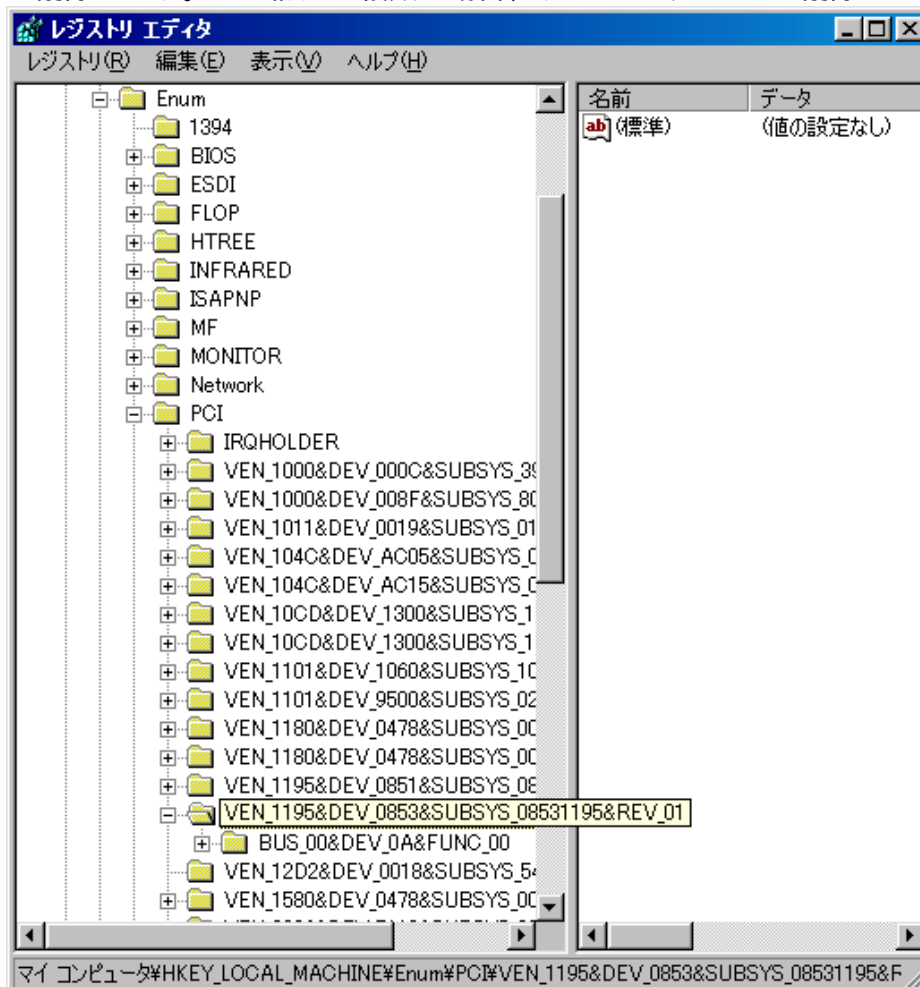
ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ] を開き、[表示(V)] - [オプション(O)] にて [すべてのファイルを表示(S)] をチェックします。
2. [スタート] ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。
3. [名前(N):] に「PCIFS3.MPD」と入力します。
4. [探す場所(L):] に Windows 98 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [検索開始(I)] をクリックします。
6. [PCIFS3.MPD] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。
通常 [Windows\system\iosubsys] ディレクトリにあります。
7. 次に INF を検索します。[名前(N):] に「PCIFS3RATOCREXPCIFS3.INF」と入力します。

8. [探す場所(L):] に Windows 98 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I)] をクリックします。
10. [PCIFS3RATOCREXPCIFS3.INF] が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCIFS3 の情報ファイルであることを確認します。
そのファイル(PCIFS3RATOCREXPCIFS3.INF)を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常[Windows¥inf¥other]ディレクトリにあります。

レジストリの削除(SCSI 部のみ)

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(0):] に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [HKEY_LOCAL_MACHINE] - [Enum] - [PCI] と順番に開きます。そして、文字列が [RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller] と登録されているか確認します。そのキー (VEN_1195&DEV_0853&SUBSYS_08531195&REV_01) を選択して削除キー (DEL) を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. 削除したらレジストリエディタを終了します。
これで完全にドライバは削除されました。

Windows 98 でドライバ更新する場合

Q:

インターネット等より、新しいドライバFDを入手したのだが組み込みには？

A:

ここでは、ハードディスクの DOWNLOAD ディレクトリの中に REX-PCIFS3 ディスクがダウンロードできているものとして説明します。

1. DOWNLOAD ディレクトリに PCIFS3_02.EXE (仮称) があることを確認します。
2. PCIFS3_02.EXE をダブルクリックして実行します。
3. 解凍実行画面が表示され複数のファイルが登場します。
4. PCIFS3_02.EXE ファイルを削除します。
5. DOWNLOAD ディレクトリのプロパティを参照して、DOWNLOAD ディレクトリが 1.44MB 以下の容量がチェックします。
6. 1.44MB フォーマット済みの空のフロッピーディスクを用意します。
7. DOWNLOAD ディレクトリ内のすべてのファイルを選択して、フロッピーディスクにコピーし、ラベルに REX-PCIFS3 Setup Disk 1 xx/xx/xx 版 (ReadMe ファイルのタイムスタンプ) と記載します。

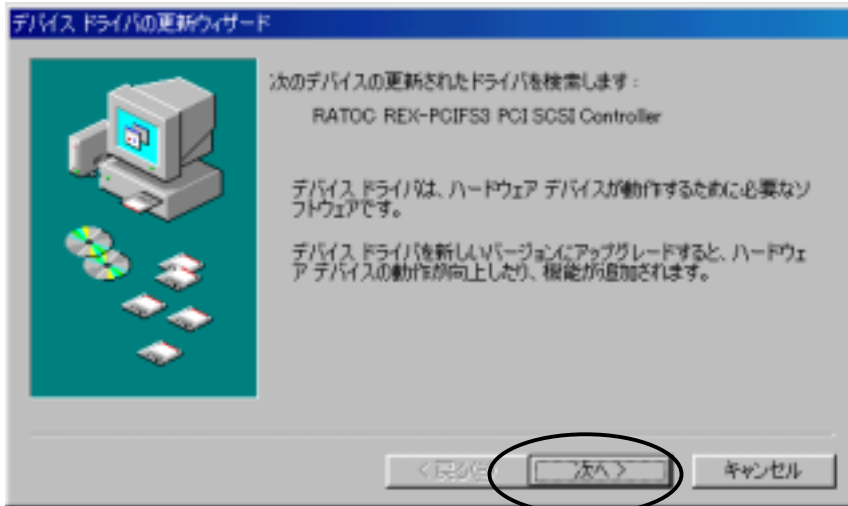
新しいバージョンの Setup Disk 1 が完成しました。続いて、ドライバの更新を行います。

1. コントロールパネルのシステムを開きます。さらにデバイスマネージャを選択します。
2. SCSI コントローラをクリックし、「RATOC REX-PCIFS3 PCI SCSI Controller」と表示されていることを確認します。「プロパティ」「ドライバ」を表示します。



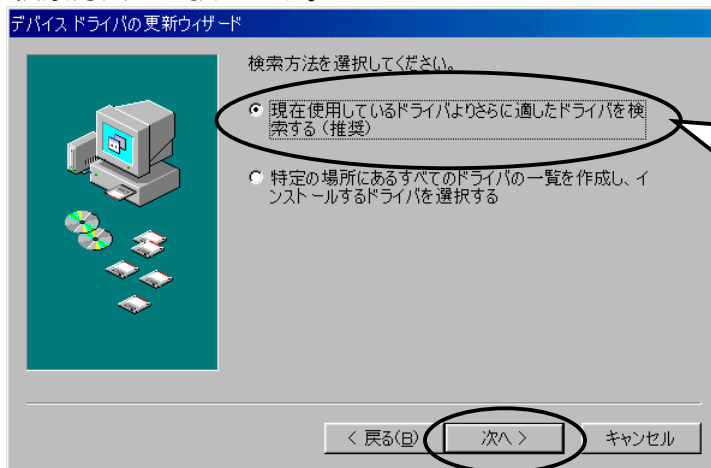
「ドライバの更新」を
押します。

「デバイスドライバの更新ウィザード」が実行されます。



「次へ」を選択します。

3. 検索方法を選択します。



「さらに適したドライバを検索する (推奨)」を選択します。

「次へ」を選択します。

4. 検索する場所を問い合わせてきます。



「フロッピーディスクドライブ」を選択し、先ほど作成した新しい Setup Disk1 をセットします。「次へ」を選択します。

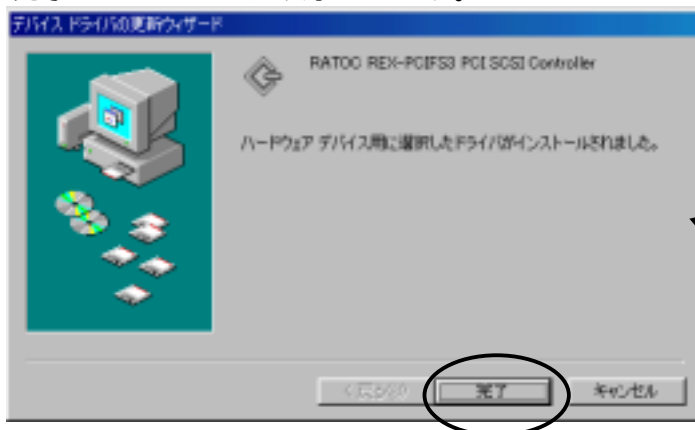
5. 読み込み元のドライバ確認の画面になります。



A:\¥REXP\IFS3.INF と表示されていることを確認します。

「次へ」を選択します。

6. 完了のメッセージが表示されます。



これで、ドライバは新しくなりました。

Setup Disk1 を抜いてください。

「完了」を選択します。

更新されたかどうかの確認を行います。

1. 再度ドライバのタグを選択します。
製造元の日付が新しくなっています。
「ドライバファイルの詳細」を選択します。
2. ドライバの詳細が表示されます。
お問い合わせの際、このバージョンをお知らせください。

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりする場合

Q:

データ転送中にハングアップしたり VXD 中断画面になったりします。

A:

- ・ SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
- ・ ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- ・ SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。
SCSI 機器の台数を減らしてみてください。
- ・ SCSI 機器台数が多いと自動ターミネータが正しく動作しない場合があります。
SCSI コンフィギュレーションの SCSI-BIOS の設定を実行して手動設定してください。

IDE の CD-ROM が使えない場合

Q:

IDE の CD-ROM が使えなくなりました。

A:

使用するパソコンによっては、セカンダリのマスタに接続してある CD-ROM が使えなくなる場合があります。この場合、セカンダリのスレーブに接続するか、プライマリのスレーブに接続を変更してください。

SCSI-BIOS スタート画面が表示されない場合

Q:

SCSI ボードが起動しません。(SCSI-BIOS スタート画面が表示されない)

A1:

PCI スロットにしっかり装着されていない場合がよくあります。
PCI スロットを搭載した初期のパソコンでよく起こります。
これはパソコンが完全にプラグアンドプレイに対応していないために発生します。
パソコンのシステム BIOS の変更を起動(パソコン起動時に何を押せば起動できるか表示されています)して PCI スロットの構成変更を行ってください。
そこで、PCI スロットの番号 (REX-PCIFS3 をセットしたスロット番号) の定義に、割り込み番号を IRQ=11 を、I/O アドレスを FF00H に予約定義してください。
システム BIOS の変更を終了するとき構成を保存してください。

A2:

ボード上の J3 が BIOS OFF 側に設定されていないか確認してください。

SCSI 機器に対して転送速度を設定する場合 (Win98)

Q:

SCSI 機器に対して転送速度を設定したい。

A:

オペレーティングシステムでの設定は、有効となりません。

Windows 98 のデバイスマネージャのディスクドライブのプロパティ表示での「同期データ転送」設定は有効となりません。

SCSI-BIOS の設定を使用して、転送方式の項目で該当する SCSI 機器の速度に設定してください。

FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU M0 を採用している古い M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A:

FUJITSU M0 を採用している比較的古い M0 ドライブでこのような現象が発生することがあります。

ハングアップする場合、以下の手順で転送速度を 10MB/s に設定してください。

1. REX-PCIFS3 に接続している SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを実行します。
3. FUJITSU M0 に該当する SCSI-ID の「転送方式」の値を 10MB/s に変更します。
4. [OK] をクリックして書き込み後、システムを終了してパソコンの電源を切ります。
5. REX-PCIFS3 に SCSI 機器を接続してパソコンを起動します。

ドライバがインストールされていないとなる場合 (Win98)

Q:

ドライバのインストールが正しく行われたにも関わらず、プロパティの画面でインストールされていないと表示され黄色の (!) エクスクラメーションマークになります。

A:

SCSI 機器との転送不具合の場合にこのようになります。

一度 SCSI 機器の電源を OFF にして立ち上げます。ドライバのプロパティが正常に動作していますと表示されていることを確認し、システム再起動して SCSI-BIOS の設定から最大同期転送速度を現在の設定値より小さな値に設定してください。

全体的なシステムのパフォーマンスが低下しますと表示される場合 (Win98)

Q:

コントロールパネルのシステムのプロパティのパフォーマンスを見ると「全体的なシステムのパフォーマンスが低下します」と表示されているのですがどうしてでしょうか。

A:

16ビット版 ASPI マネージャ (ASP850.SYS) が登録されているためです。
CONFIG.SYS を編集して ASP850.SYS をコメントにしてください。

その他のデバイスに PCI SCSI BUS Controller が表示される場合 (Win98)

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI SCSI BUS Controller を選択し、プロパティのドライバ変更を選択します。
ハードウェアの選択画面で SCSI コントローラを選択します。ドライバディスクをセットしドライバの場所を選択してインストールします。

その他のデバイスに PCI Brige として登録される場合 (Win98)

Q:

SCSI デバイスに登録されず、その他のデバイスに登録されてしまいました。
まだ、ドライバは読み込んでいません。

A:

PCI Brige を選択し、削除キーを押してください。
システム再起動により “新しいハードウェア” の画面が表示されます。
後は、本文の記述に従ってインストールしてください。

PC98-NX でデバイスマネージャの画面が表示されない場合 (Win98)

Q:

ドライバの登録確認のため、デバイスマネージャの画面を表示しようとしてありません。

A:

PC98-NX では、標準で、キッズモードまたはベーシックモードに設定されています。
[プログラム]の[CyberTrio-NX]の[Go To アドバンスモード]を実行してください。
また、レジストリエディタを起動する場合も同様です。

PC98-NX で SCSI ハードディスクより起動する場合

Q:

PC98-NX (Fine を除く) で REX-PCIFS3 に接続したハードディスクより起動したいのですがどうすればできますか。

A:

DOS/V と同様、内蔵 HD を未接続 (プライマリマスタをなし) にして (または取り外して) しまえば可能ですが、内蔵 IDE を D: ドライブとして使用することが可能です。

1. システム起動画面で「F2」を押して BIOS セットアップ画面を表示します。
2. 「起動」のタグより 1. ~ 4. の中に [取外し可能デバイス] があることを確認します。
3. 「ハードディスク」を選択します。 1. に [その他の起動ドライブ] がくるように設定します。
4. 設定を保存してシステム再起動してください。SCSI ハードディスクより起動を開始します。 [起動時のメニュー] が表示されるようになります。Enter を押してください。

SCSI HD が second IDE HD より前のドライブ名となる場合

Q:

REX-PCIFS3 に接続された HD が、セカンド IDE に接続された HD のドライブ名より前のドライブ名に割り当てられます。

A:

システムプロパティで MO, CD-ROM 等はドライブ名の変更ができますが HD はできません。REX-PCIFS3 の SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」の項目を No : にします (コントロールしない)。

SCSI-BIOS の起動画面を非表示にしたい場合

Q:

REX-PCIFS3 の起動画面を表示しないようにしたい。

A:

REX-PCIFS3 に接続した機器からシステムを起動する必要がなければ、REX-PCIFS3 のボード上の J3 の設定で SCSI-BIOS を無効(OFF)にすると非表示になります。

SCSI-BIOS の設定で「Enable Host Adapter BIOS」を No にするだけでは、非表示にはできません。

UltraSCSI 対応機器が SCSI-2 と表示される場合

Q:

Ultra SCSI の機器を接続していますが、SCSI 機器接続ユーティリティ (WinSSC) で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A:

適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返す場合は、「SCSI-3」と表示されます。

REX-PCIFS3 を装着するとシステム起動が遅くなる場合

Q:

REX-PCIFS3 を導入する前に比べて、システム起動時間が遅くなりました。

A:

仕様です。システム起動時にパソコンが REX-PCIFS3 を認識する処理と REX-PCIFS3 が接続している SCSI 機器を認識する処理が追加されるため、システム起動が 10 秒から 20 秒ほど遅くなります。起動が遅くなる時間がこの範囲であれば正常に動作しています。

不明なデバイスが検出されると表示の場合

Q:

スキャナを接続して REX-PCIFS3 をインストールすると「不明なデバイスが検出されました」と表示してドライバの読み込みが行われません。

A:

「不明なデバイスが検出されました」の表示は REX-PCIFS3 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。スキャナに Windows 98 のドライバ(INF)が添付されている場合は、デバイスドライバウィザードで読み込ませてください。添付されていない場合は、「完了」を押してください。次回からこのメッセージは表示されなくなります。詳しくは、スキャナメーカーにお問い合わせください。

フォーマットユーティリティ (REXFMT95) で CDR, CDRW, DVD が認識されない

Q:

Windows 98 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95) にて、接続されている CD-R, CDRW, DVD を認識できません。Windows 98 用 SCSI 機器確認ユーティリティでは確認できるのですが。

A:

Windows 98 用 SCSI フォーマットユーティリティ (REXFMT95) は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルディスクを対象としています。CD-ROM、CD-R、CDRW、DVD は対象としていません。初期化が必要な場合、ドライブメーカーにお問い合わせください。

SCSI 機器接続確認で準備ができていませんと表示される

Q:

Windows 98 用 SCSI 機器確認ユーティリティ (WINSSC) にて、接続されている CD-R, CDRW, MO 等を確認すると、Device Status の欄に「ドライブの準備ができていません」と表示されます。

A:

CD-ROM、CD-R、MO 等の場合、メディアが挿入されていないときには、「ドライブの準備ができていません」と表示されます。これで正常です。メディアを装着し、再度画面表示しますと「Ready」となります。

REX - P C I F S 3 質 問 用 紙

お手数ですが、拡大コピーの上ご使用ください。

氏 名			
会社名・学校名			
部 署 ・ 所 属			
住 所	〒		
T E L		F A X	
電 子 メ ー ル			
製 品 型 番	REX - P C I F S 3	シリアル番号	
販 売 店 名		購 入 年 月 日	

パソコン機種名	メ ー カ ー 名	
	型 番	
使用 OS	Windows98	Windows98 SecondEdition その他 ()
接 続 機 器	分 類	
	メ ー カ ー 名	
	型 番	
ご 質 問 内 容		
添 付 資 料	デバイスマネージャのシステム概要 ¹ その他 ()	

1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1)[スタート]メニューから[設定] - [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックします。
- (2)[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[印刷]ボタンをクリックします。
- (3)[レポートの種類]で「システムの概要」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。